

平成25年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書
(平成24年度分)

寒河江市教育委員会

目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	5
3.	教育委員会会議以外の活動	5
III	施策の体系	6
IV	外部評価委員の意見	8
1.	総括	8
2.	施策ごとの意見	8
3.	来年度に向けての課題	11
V	点検・評価対象事業一覧	12
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	14

I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成24年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成24年度に実施した教育委員会所管の73事業のうち、事業費の額及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な49事業を対象に実施しています。

また、平成23年度からスタートした新第5次寒河江市振興計画において、今後5年間重点的に取り組む施策として7つの「重点プロジェクト」が設定されておりますが、このうち、教育委員会が関係する3つのプロジェクトの中の、教育委員会が所管する3事業についても昨年に引き続き取り上げることにしました。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした49事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

また、重点プロジェクトの事業については、関係する個別事業の評価を踏まえて、プロジェクトの着実な推進の観点から一定の評価を加えております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏名	役職名等
真木吉雄	山形大学大学院教育実践研究科 教授
佐藤彬夫	有識者
小松たみ子	有識者

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開催日	区分	議案番号	件名
4月23日	定例	16	平成24年度教育行政の一般方針について
5月22日	定例	17	平成24年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
6月21日	定例	18	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		19	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		20	寒河江市図書館協議会委員の任命について
7月23日	定例	21	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
		22	平成25年度使用教科書図書採択について

		23	寒河江市指定有形文化財及び寒河江市無形文化財の指定について
8月17日	臨時	24	寒河江市屋内多目的運動場の整備計画について
8月20日	臨時	25	教育財産の取得の申出について
8月27日	定例	26	寒河江市教育委員会教育長事務委任規程の一部改正について
		27	教育委員会の事務事業（平成23年度分）に点検・評価について
		28	平成24年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
9月27日	定例	29	寒河江市教育委員会委員長の選挙について
10月15日	定例	30	寒河江市郷土館西村山郡役所の管理及び使用等に関する規則の一部改正について
11月13日	定例	31	寒河江市立図書館に関する条例施行規則の一部改正について
		32	市議会提出議案（土地の取得について）に対する意見の申出について
		33	平成24年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
12月21日	定例	34	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		35	平成24年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
2月14日	定例	1	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		2	寒河江市立学校の設置等に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
		3	平成25年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		4	実施計画（平成25年度～平成27年度）について
		5	平成25年度教育行政の一般方針について

2月22日	臨時	(5)	平成25年度教育行政の一般方針について（継続審議）
		6	平成24年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		7	市議会提出議案（寒河江市屋内多目的運動場新築工事請負契約の締結について）に対する意見の申出について（追加）
3月1日	臨時	(5)	平成25年度教育行政の一般方針について（継続審議）
		8	寒河江市教育委員会教育長の任命について
3月11日	臨時	(5)	平成25年度教育行政の一般方針について（継続審議）
		9	平成25年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月22日	定例	(5)	平成25年度教育行政の一般方針について（継続審議）
		10	公民館長の任命について
		11	寒河江市立図書館長の任命について
		12	寒河江市教育委員会の権限の一部を教育長に対する事務委任規則の一部改正について
		13	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		14	寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について
		15	平成24年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について（追加）
		16	寒河江市教育委員会教育長事務委任規程の廃止について
		17	寒河江市教育委員会事務代決及び専決に関する規程の廃止について
		18	寒河江市教育委員会公印規程の一部改正について
		19	寒河江市公立学校処務規程の一部改正について
		20	教育財産の用途廃止について
		21	平成25年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について（追加）

2. 教育委員会協議会の開催

開催回数 5月22日 ほか6回

- 協議案件
- ・平成24年度寒河江市の教育について
 - ・屋内多目的運動場建設に係る地域懇談会の概況について
 - ・教育委員会事務事業点検・評価（平成23年度分）の内容について
 - ・屋内多目的運動場建設に係る現在の状況について
 - ・市立図書館身障者用駐車場の設置について
 - ・市長との懇談会について
 - ・慈恩寺の国史跡指定に向けた現在の状況について
 - ・中学校給食に係るアンケートの結果について など 計10件

3. 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

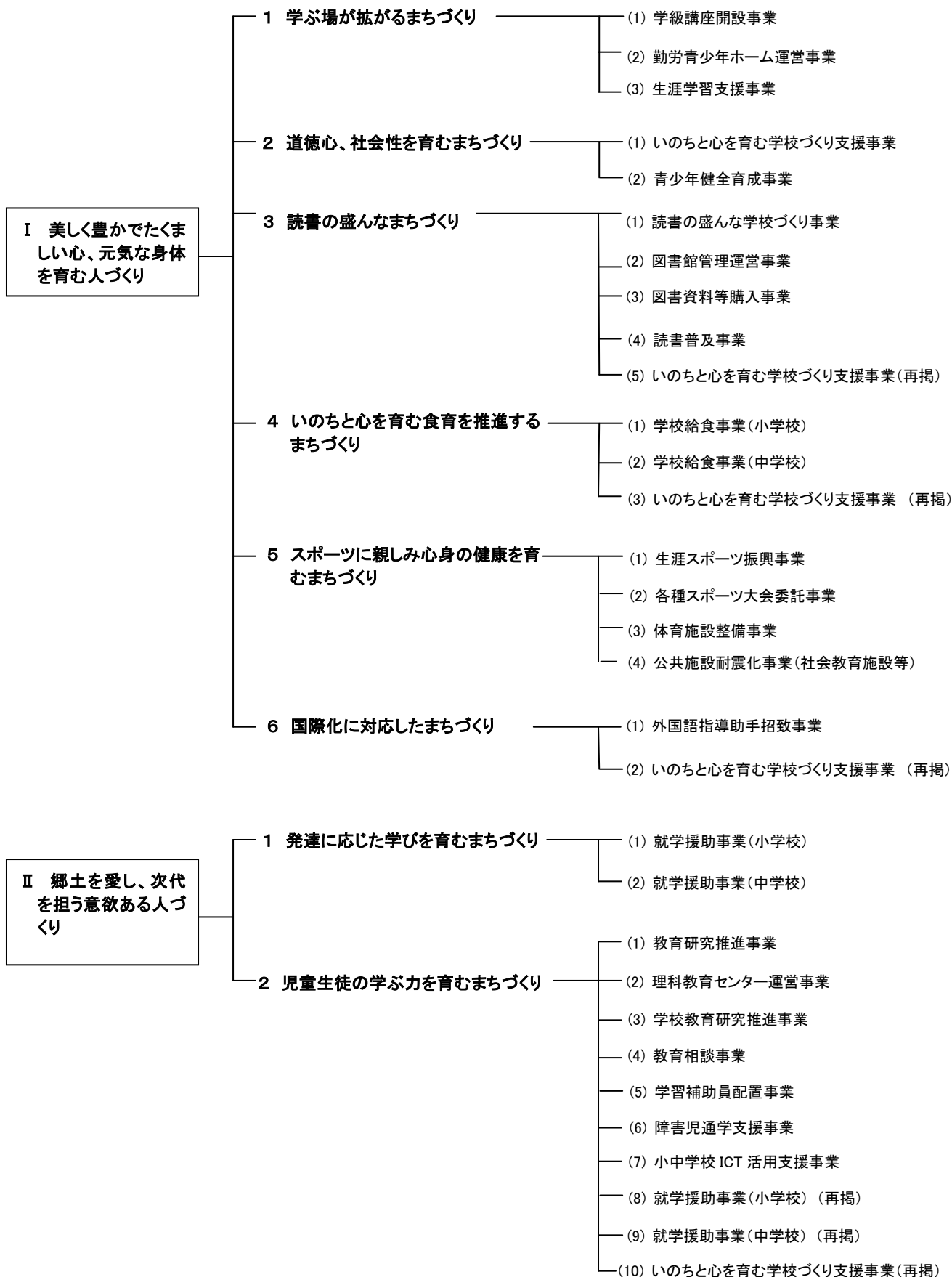
実施日	実施校	実施日	実施校
5月22日	陵西中学校	11月1日	田代小学校
6月27日	柴橋小学校	11月6日	寒河江小学校
10月2日	醍醐小学校	11月15日	陵東小学校
10月17日	三泉小学校		

(2) その他調査・研修活動

実施日	内 容
5月16日	小学校陸上競技大会
5月18日	教育委員と学校長の教育懇談会
6月1日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
7月11日	小学校水泳競技大会
7月25日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
8月9日	山形県教育委員大会・研修会（飯豊町）
9月27日	小中学校交歓音楽会
	寒河江市スポーツ推進審議会委員と教育委員の懇談会
10月11日	公開研究発表会（南部小学校）
10月15日	市長と教育委員の懇談会
11月20日	フューチャースクール推進事業公開授業（高松小学校）

III 施策の体系

寒河江市教育振興計画



Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり

- 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり
 - (1) 市史編纂事業
 - (2) 文化財保護庶務事業
 - (3) 埋蔵文化財調査事業
 - (4) 郷土館保存事業
 - (5) 歴史文化ふるさと回帰事業
 - (6) 慈恩寺国史跡指定総合調査事業
 - (7) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
- 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり
 - (1) 芸術文化振興事業
 - (2) 美術館運営事業

Ⅳ 地域主体の活動による心豊かな人づくり

- 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり
 - (1) 社会教育活動事業
 - (2) 公民館活動事業
 - (3) 放課後子ども教室推進事業
 - (4) 公民館整備事業
- 2 家庭の教育力を高めるまちづくり
 - (1) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
 - (2) 社会教育活動事業（再掲）
 - (3) 公共施設耐震化事業
- 3 地域に開かれた学校、学びを高めるまちづくり
 - (1) さがえっこ育みアクションプラン推進事業
 - (2) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）

Ⅴ 開かれた教育行政の推進

- 1 教育行政に対する関心、意識の高揚
 - (1) 教育委員会事務局管理事業
- 2 教育環境の充実・整備
 - (1) 小学校管理事業
 - (2) 中学校管理事業
 - (3) 学校保健事業(小学校)
 - (4) 学校保健事業(中学校)
 - (5) 教育振興事業(小学校)
 - (6) 教育振興事業(中学校)
 - (7) 情報教育推進事業(小学校)
 - (8) 情報教育推進事業(中学校)
 - (9) スクールバス運行事業

IV 外部評価委員の意見

1 総括

○ 平成24年度実施の49の対象事業並びにプロジェクトの3事業については、大半が過年度までと同事業のため、内容的に経年比較がしやすく評価基準の分かりやすいものとなっています。予算を伴う事業費という観点からは、いずれの対象事業も妥当性があるといえます。市民への周知の必要性の観点から見た場合、例えば登下校における安全管理に関する取り組みなど全国でも話題になっている内容について取り組まれているのかわかりにくい面もあるようです。市民が関心を寄せるような内容については、必ずしも予算を伴わないものであっても、いずれかの事業に関連づけて触れられていれば、より充実した事務事業評価になっていくものと思われまます。

○ 事務事業内容や実施状況について、各担当の方から説明をいただいた事で、内容の理解を得ることができました。

また、平成23年度から5年計画されている新第5次寒河江市振興計画の中の「重点プロジェクト」においても、事業目的や実施状況、年間計画に基づいた対応で取り組まれているのわかりました。

イベントや事業開催にあたっては、安全性・万が一に備えた避難経路の誘導確認について常時考慮すべきと感じています。

○ 今年度から評価委員会議を説明及びヒアリング形式に改められましたが、各事業について直接担当されている方の説明は、より具体性があり、評価委員にとって理解しやすいものになったと思います。それだけに時間も必要となりますが、各担当者の事前調整を図れば時間の短縮が図れるものと考えます。

2 施策ごとの意見

(1) 生涯学習の推進・充実

【学級講座開設事業】

○ 市民の年齢層にあった講座が開設され、まさに生涯学習にふさわしい事業であると思います。特に高齢者教室の中で人気の高い事業の「生き生き講座」は、受講希望者が多く、募集定員を超える応募に対応している状況から、定員をもう少し拡大する方向で今後検討して欲しいと思います。

○ 女性教養講座は人気の講座で、受講者の年齢が50歳までと制限されておりますが、さらなる希望者受入れ拡大のために、年齢の再検討をお願いしたいと思います。

○ 今後開設が予定されている「(仮称)寒河江さくらんぼ大学」においては、内容、対象、回数等を十分に考慮いただき、多種の分野でより専門的な内容の講座であって欲しいと思います。

○ 子どもたちの豊かな体験活動の充実のために、少年少女向けの「モノづくり」を主体とした講座の開設を希望します。

【勤労青少年ホーム運営事業】

○ 勤労青少年ホームの一般利用の拡大のためのPRをして欲しいと思います。

【生涯学習支援事業】

○ 生涯学習活動の拡大を図るため、まちづくり出前講座や生涯学習支援事業助成制度についてもっとPRすべきと思います。

【青少年健全育成事業】

○ 昨年度の方向性が「拡充」となっており、その結果から、青少年補導件数の大幅な減少につながったものと思います。今年度は「継続」としてはいますが、現在の状況に甘んじることなくさらに良い方向に進めるためにも、近隣の市町村の関係諸団体との連携推進をより一層図るなど、積極的かつ具体的に取組まれることに期待します。

【芸術文化振興事業】

○ 市民が年代にあった事業として公演を企画し、芸術文化に取り組もうとしている姿勢に今後も大いに期待します。親子・家族にとっても芸術鑑賞の機会を多く与えられたらと思っておりますので、芸術文化振興のため、チケットのプレゼントなど市民の活動意欲を高めるための働きかけをしていただきたいと思います。

○ 市民劇団の立ち上げをぜひ頑張ってもらいたいと思います。

【美術館運営事業】

○ 文化振興とあわせて中心市街地の活性化の両面性を持った価値のある事業と思います。教育委員会の事業であるので、昨年度実施された「寒河江こども芸術展」などの多彩な企画と合わせて児童生徒の鑑賞の機会を増やす手立ても考慮していけば、来館者の拡大につながるものと思います。

○ 美術館については、市民の身近な場所にあることや展示内容の充実により来館者が増加しております。

今年度は開館5周年にもあたり、市民ギャラリーなどの有効活用を検討いただき、気軽に立ち寄れる美術館になることを希望します。

○ 美術館の年間事業で、アマチュア写真家や美術愛好家、手芸、生花、刺繍等の愛好家の団体の利用について、さらに拡大させることはできないでしょうか。

【社会教育活動事業】

○ 西村山地区視聴覚教育協議会のあり方が議論になっているようですが、教材等の管理について、可能なものは図書館で行うように検討していただきたいと思います。

【放課後子ども教室推進事業】

○ 学区ごとに開設されている寒河江市放課後こども教室は、人気のある事業ですが、実施しているコーディネーターや安全管理員の方達には敬意を表したいと思います。

夏休み等長期休暇内の事業のため、なかなか安全管理員が増員ならないのではと思いますが、安全面に配慮しながら子ども達に経験・体験をしてほしいと期待しています。

(2) 読書活動の推進・充実

【図書館管理運営事業】

- 図書館利用者に対し、優しい駐車場を新設していただいたことにうれしく思います。悪天候の場合や冬期間、荷物の搬入・運搬される方の利用についての配慮も考えていただければと思います。
- 高齢者や通勤通学の方が利用しやすいよう、寒河江駅舎へのサテライト図書館の設置や駅舎で貸出予約・返却が可能となるシステムの構築はできないでしょうか。
- 図書館に東側に駐車場や障害者用の駐車スペースができたことはとても素晴らしいことですが、車椅子の目線の高さを考慮した返却のためのブックポストも設置されればよいと思います。
- 図書館東側の軒下の落雪防止を講ずれば、冬季間も駐車スペースとして利用可能ではないのかと思います。
- ソーラーシステム導入による室内照明を考えて見る時期ではないのかと思います。

(3) 生涯スポーツの推進・充実

【生涯スポーツ振興事業】

- 市民体育館が北の拠点と考えれば、最上川寒河江緑地多目的水面広場が南の拠点となるよう市民が気軽に利用できるような施設運営を期待します。

【体育施設整備事業】

- 市民プールに太陽光を利用した温水シャワーの設置を検討してはどうでしょうか。

(4) 特色ある学校づくりの推進・充実

【さがえっこ育みアクションプラン推進事業】

- 学校と地域・家庭との連携はこれからますます重要視されてきます。その架け橋のひとつが学校支援地域本部事業といえます。地域住民が学校を支援するという視点だけでなく、地域住民にとってのメリットも得られる活動にすべきと考えます。小中学校間の連携も叫ばれているなか、中学校への拡大は地域との関わりの幅を膨らませることにもなり、ぜひ実現されることを期待します。

【いのちと心を育む学校支援事業】

- 各学校にはそれぞれ特色があり、地域・家庭・学校とそれぞれ連携をとりながら取り組まれていることは素晴らしいと思います。
子ども達にとって、自分の住む地域にある自然や歴史、伝統文化を大切に守り、伝承する事の重要性を学ぶ事業と感じました。今後も期待します。

(5) 児童生徒の学ぶ力の育成

【理科教育センター運営事業】

- 昨年度も指摘しましたが、子どもたちの理数科離れに対応するためにも、現在の予

算では十分といえません。特に理科を苦手としている小学校教員が少なくない状況ですので、教員の研修を充実させるためにも予算増を伴う拡充が必要と思います。

- 理科教育の充実を図るためにどのようにすればよいのか。子ども達は、科学の実験や“なぜ?”の不思議なことに目を輝かせます。外部指導者の配置や、指導者の育成に充実を図る必要があるのではと思いますので予算の拡充は必要です。

【小中学校 I C T活用支援事業】

- 高松小学校の取り組みは、県内のみならず全国的にも高い評価を得ています。得られた成果や財産を継承するためにも、教育委員会として継続した取り組みを行えるよう配慮していただければと思います。また、子どもたちの I C T活用リテラシーのための取り組みに加えて、高度情報化社会に対応した情報モラル教育のための教職員向け研修などの計画も考慮していただければと思います。

(6) 文化財の保存・活用の充実

【市史編纂事業】

- 市史編纂のための資料調査をしていることが市民にあまり知られていないのではないかと感じています。特に旧家の建替えがあるときは、各地域に配置している歴史活動推進委員と連携を密にして、情報収集していただければと思います。

3 来年度に向けての課題

- 事務事業の点検・評価について、事業の概要に事業の目的と内容から、事業の必要性を読み取ることができるように記載されています。加えて、事業を実施するうえでの課題等の表記がいずれかにあれば、事業評価をそれにタイアップさせながら読み取ることができ、事業に対する理解が深まるようになると思います。
- 事務事業の点検・評価 49事業のうち 11事業で「拡充」の方向としていますが、今後予算の増額を求めるのか、内容の充実を図るのかやや曖昧な面が見られます。特に予算の増額を求めるものについては、評価年度と実施年度とのズレを考慮して、今後の対応欄に本年度の予算にどのように反映されているかを記入しても良いのではないのでしょうか。

V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	学級講座開設事業	生涯学習課	I-1-(1)	14
	勤労青少年ホーム運営事業	生涯学習課	I-1-(2)	16
	生涯学習支援事業	生涯学習課	I-1-(3)	17
	青少年健全育成事業	生涯学習課	I-2-(2)	18
	芸術文化振興事業	生涯学習課	III-2-(1)	19
	美術館運営事業	生涯学習課	III-2-(2)	21
	社会教育活動事業	生涯学習課	IV-1-(1) IV-2-(2)	22
	公民館活動事業	生涯学習課	IV-1-(2)	23
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	IV-1-(3)	24
	公民館整備事業	生涯学習課	IV-1-(4)	25
	公共施設耐震化事業	生涯学習課	IV-2-(3)	26
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	I-3-(1)	27
	図書館管理運営事業	生涯学習課	I-3-(2)	28
	図書資料等購入事業	生涯学習課	I-3-(3)	29
	読書普及事業	生涯学習課	I-3-(4)	30
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	生涯学習課	I-5-(1)	32
	各種スポーツ大会委託事業	生涯学習課	I-5-(2)	33
	体育施設整備事業	生涯学習課	I-5-(3)	34
	公共施設耐震化事業	生涯学習課	I-5-(4)	35
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	学校教育課	IV-3-(1)	36
	いのちと心を育む学校づくり支援事業	学校教育課	I-2-(1) I-3-(5) I-4-(3) I-6-(2) II-2-(10) III-1-(8) IV-2-(1) IV-3-(2)	37
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業	学校教育課	II-2-(1)	38
	理科教育センター運営事業	学校教育課	II-2-(2)	39
	学校教育研究推進事業	学校教育課	II-2-(3)	40
	外国語指導助手招致事業	学校教育課	I-6-(1)	41
	教育相談事業	学校教育課	II-2-(4)	42

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	学習補助員配置事業	学校教育課	Ⅱ-2-(5)	43
	障害児通学支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(6)	44
	小中学校 I C T活用支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(7)	45
	就学援助事業（小学校）	学校教育課	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-2-(8)	46
	就学援助事業（中学校）	学校教育課	Ⅱ-1-(2) Ⅱ-2-(9)	47
	学校給食事業（小学校）	学校教育課	I-4-(1)	48
	学校給食事業（中学校）	学校教育課	I-4-(2)	49
⑥ 文化財の保存・活用の充実	市史編纂事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(1)	50
	文化財保護庶務事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(2)	51
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(3)	52
	郷土館保存事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(4)	53
	歴史文化ふるさと回帰事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(5)	54
	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(7)	55
⑦ 教育行政に対する関心・意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	V-1-(1)	56
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	V-2-(1)	57
	中学校管理事業	学校教育課	V-2-(2)	58
	学校保健事業（小学校）	学校教育課	V-2-(3)	59
	学校保健事業（中学校）	学校教育課	V-2-(4)	60
	教育振興事業（小学校）	学校教育課	V-2-(5)	61
	教育振興事業（中学校）	学校教育課	V-2-(6)	62
	情報教育推進事業（小学校）	学校教育課	V-2-(7)	63
	情報教育推進事業（中学校）	学校教育課	V-2-(8)	64
	スクールバス運行事業	学校教育課	V-2-(9)	65

重点プロジェクト事業

プロジェクト名	事業名	事業の主たる担当課	頁
「さがえっこ」すくすくプロジェクト	「さがえっこ育みアクションプラン」の推進	学校教育課	66
慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクト	○ 慈恩寺の国史跡指定に向けた取組み ○ 慈恩寺の学術上の高い価値についての情報発信	生涯学習課	67
「さがえはつらつ」プロジェクト	「屋内多目的運動場」の整備	生涯学習課	69

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学級講座開設事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 学ぶ場が広がるまちづくり		4 社会教育費
			4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	中央公民館及び各地区公民館で、市民の実生活に即した学びや学術及び文化に関する各種の講座等を実施し、皆が元気な地域づくり、まちづくりに資する。
事業内容	中央公民館及び各地区公民館で、各年代に見合った学習要求と課題に対応した各種学級や講座を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,646	補正額等		合計	2,646	決算額	2,012
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 少年少女講座	
・中央公民館	少年少女合唱団活動 :小・中・高校生団員26名、毎週土曜日練習、各種演奏会出演、定期演奏会開催
・中央公民館	少年少女郷土史講座 :6年生、夏休み中4回開催、史跡や勾玉・土器づくりと野焼き体験延べ16名参加
・東部地区公民館	おもしろ発見隊 :5. 6年生、9月～10月3回開催、白鷹山登山、草木染め、菓子づくり体験延べ16名参加
・柴橋地区公民館	柴っ子アドベンチャー倶楽部:小学校4～6年生、7月～12月6回開催、プラネタリウム学習、新エネルギー講座、門松づくり 延べ96名参加
・西部地区公民館	わんぱく仲間っ子 1～6年生 7月～1月 10回開催 ニュースポーツ、川遊び、マイクロバスでお出かけ、慈恩寺見学、ダンボール工作、ハーブクッキング、門松づくり、雪遊びなど 延べ261名参加
(2) 成人講座	
・中央公民館	虹のむらやま見聞楽 5回講座 申込者実数79名、内2回を公開講座、約250名と約150名の入場者
・東部地区公民館	男の心得 4回 延べ87名参加
・柴橋地区公民館	男性の美力(みりよく)アップ講座 2回 延べ40名参加 女性の魅力アップ講座 3回 延べ60名参加
(3) 高齢者教室	
・中央公民館	生き生き講座 8回講座 申込者実数117名
・東部西根地区	若返りの泉 5回 延べ312名参加
・南部地区	高齢者教室 6回 延べ120名参加
・高松地区	高齢者教室 3回 延べ274名参加
・白岩地区	高齢者教室 4回 延べ507名参加
・東部三泉地区	泉塾 5回 延べ170名参加
・柴橋地区	高齢者セミナー 3回 延べ120名参加
・醍醐地区	いきがい老人大学 3回 延べ135名参加
(4) 女性教養講座	
・東部カルチャーカレッジ	4回 延べ81名参加
・柴橋地区金谷エプロンスクール	5回 延べ160名参加
・西部ファミリースクール(若妻会)	3回 延べ88名参加
・醍醐地区若妻会手芸教室	1回 12名参加
・白岩地区婦人学級 基本コース	5回 延べ165名参加
・南部地区若妻の集い	2回 延べ30名参加
・高松地区婦人学級	3回 延べ150名参加
同 生花コース	5回 延べ90名参加
(5) 家庭教育講座	
・幼稚園などと連携し、家庭の教育力の充実を図るため親のための子育て講座を開催	
東部地区	4回 延べ710名参加
南部地区	1回 延べ60名参加
柴橋地区	2回 延べ60名参加
高松地区	3回 延べ168名参加
白岩地区	2回 延べ60名参加

5. 事業の評価

昨今の話題や、市民の興味が高い分野での学級・講座を開設し、楽しんで受講できることを配慮した結果、定員を超える申し込みの講座もあった。特に60歳以上の市民の学習意欲は高く、年齢や対象を明確にした事業では、女性の参加も多くなった。講座は、年齢ごと目的ごとに幅広く設けており、地域や共通の目的を持った市民の参加を得ることができた。

6. 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	時事的な話題性のあるもの、興味ある内容で事業の充実を図り、受け身だけの講座ではなく、楽しく参加しやすいものにしていく必要がある。青壮年層が参加したくなる事業の実施がこれからの課題で、将来的には「学び」が地域における自主的な活動に繋がることを目指していく。また、より充実した講座として「(仮称)寒河江さくらんぼ大学」の検討を進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	勤労青少年ホーム運営事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 1 学ぶ場が広がるまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	勤労青少年が余暇を利用してスポーツやレクリエーション活動に親しむ場の提供と、文化教養(技能や教養の習得)などの講座を開設することにより、勤労青少年の健全な育成と福祉の増進を図る。
事業内容	(1) 教養講座として、生花講座(月曜コース・水曜コース)の継続開催 (2) 料理教室の継続(前期・後期)開催 (3) 会員によるクラブ活動及び一般利用者による各種活動充実のための環境整備

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	234	補正額等		合計	234	決算額	233
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>(1) 講座・教室別利用状況</p> <p>① 生花教室(2コース)の開催 開催数…計84回(月曜39回 水曜45回) 参加者559名 料理教室の開催 開催数…13回(前期6回 後期7回) 参加者157名</p> <p>② クラブ活動利用状況 登録人数82名(男50人 女32人) 利用人数 2,033人 ・バスケットボール 85回 961人 ・フットサル 51回 666人 ・ソフトバレーボール 31回 172名 ・バンド 85回 234名</p> <p>③ 一般利用状況 使用回数497回 利用人数11,855人</p> <p>(2) 備品の老朽化に伴い、電気炊飯器(1台)を更新した。</p>
--

5. 事業の評価

<p>講師の先生の協力により季節にあった料理を選定するなど工夫することにより、参加者の好評を得ることができた。参加料は材料代のみとし、隔週の実施で日程的にも無理なく参加でき、勤労青少年の家庭生活の向上と集いの場の提供を図ることができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	公民館との一体的な利活用を図りながら、引き続き勤労青少年のニーズに合った講座を開設し、勤労青少年の利用を促進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習支援事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 ¹ 教育費
	1 学ぶ場が広がるまちづくり		4 ¹ 社会教育費
			10 ¹ 生涯学習推進費

2. 事業の概要

事業目的	市民の自主的な生涯学習活動に対し、活動を支援することで市民の学習意欲の向上を図る。
事業内容	各種団体・企業等が自主的に実施する学習会や講座において、優れた技術識見を有する講師の招聘等、費用の一部を助成する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	800	補正額等		合計	800	決算額	382
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>様々な分野における生涯学習講座を実施した27団体に対して、1講座2万円を限度として支援を行った。</p> <p>(1) 事業件数:27件 参加者:延べ2,522名</p> <p>(2) 主な支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 緑町第4町会 「緑町寄席」 55名参加 ② 白岩地区老人クラブ連合会 「白岩地区高齢者教室」 100名参加 ③ 陵南中学校父母と教師の会 「親子文化講演会」 802名参加 ④ 松川公民館 「松川地区民交流会」 50名参加 ⑤ (社)寒河江青年会議所 「基調講演会」 900名参加 ⑥ 高松地区婦人会 「高松地区婦人学級」 60名参加 ⑦ 南部小学校PTA 「家族で楽しむ音楽会」 102名参加 ⑧ 日田公民館 「新春日田寄席」 60名参加

5. 事業の評価

<p>市民の自主的な生涯学習に関する講座等を支援することで、学びの環境の幅が広がり、市民の教養の向上に繋がった。また、学習相談や情報提供を行ったことで、2,522名の参加者に対して学びの場を提供することができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>多様化する学習ニーズの把握に努め、継続して市民が自主的に学びを上げられるよう学習相談や情報提供を行い、なお一層市民の生涯学習活動を支援していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算 科目	10 教育費
	2 道徳心、社会性を育むまちづくり		4 社会教育費
			7 青少年育成センター費

2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係機関・団体と一体となって街頭指導や巡回指導などを実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	青少年教育機関等関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。また、青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	450	補正額等		合計	450	決算額	386
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>(1) 市青少年育成センターの育成委員(民生児童委員及び主任児童委員)90名を4~5名のグループに分け、年間20回の夕刻街頭指導を実施した。また、青少年育成推進員11名を2~3名のグループに分け、年間11回の夜間街頭指導を実施した。</p> <p>(2) 催事や夏休み期間を重点に、市内の繁華街やゲーム店、書籍店(ビデオ店やアダルトグッズ等の専門店)などを巡回し、子どもたちの戸外における生活実態の把握や声掛け運動及び有害図書や自販機の点検等を行った。</p> <p>(3) 平成24年度は、寒河江会場で青少年健全育成県民大会が開催され、市民へのPRができた。</p>

5. 事業の評価

<p>地域の防犯協会や子ども見守り隊の活動と一体となって青少年を犯罪から守る活動に取り組んだことや、育成委員の地道な活動を行ってきたことにより、寒河江警察署管内においては、青少年補導件数の大幅な減少に繋がっている。(前年比82件減)</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	市青少年育成センターを中心に、青少年教育機関等関係諸団体や近隣市町村と連携を図りながら、青少年の健全育成と非行防止に向けて、さらに充実した取り組みに努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 (教育振興計画)	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり		4 社会教育費
			3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた芸術文化に触れ、鑑賞する機会を持つことにより、市民の芸術文化に対する資質向上を目指す。
事業内容	市民の芸術文化活動への支援を行うとともに、市民文化会館の有効活用を図りながら幅広いジャンルの事業を展開し、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,577	補正額等		合計	9,577	決算額	8,838
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 市民文化会館自主事業の拡充	
① 加藤昌則ピアノコンサート(新グランドピアノ柿落し)	6月24日(日) 入場者451名
② 慈恩寺コンサート「悠久の里 慈恩寺 東儀秀樹」	8月18日(土) 入場者500名
③ 幼児演劇教室「ミュージカルピーターパンとウエンディ」	10月22日(月) 入場者793名(幼稚園、保育園4・5歳児)
④ ミュージカル公演「蝶々さん」	12月 1日(土) 入場者614名
⑤ 親子人形劇公演「ゲゲゲの鬼太郎 決戦! 竜宮島」	3月24日(日) 入場者540名
(2) 実行委員会等市民文化団体への支援	
① 第44回市総合文化祭 市芸文協主催	10月24日(水)～11月 4日(日) 参加団体52団体
② 県美展寒河江移動展 実行委員会主催	10月 5日(水)～10月10日(祝) 入場者513名
③ 第15回寒河江市音楽祭『春を呼ぶコンサート』 実行委員会主催	3月 3日(日) 入場者700名
(3) 芸術文化団体の全国大会出場に対する助成	
① 第27回国民文化祭とくしま2012(徳島県)	11月11日(日)チェリー寒河江民謡会6名
② 第66回全日本学生音楽コンクール全国大会in横浜	12月4日高橋慶
(4) 山形交響楽団に対する支援	
(5) 舞台づくり支援事業 (演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援)	
① 演奏力等向上支援事業 高校4回 一般4回	② 発表会活動支援事業 社会教育団体2回

5. 事業の評価

<p>年代にあった芸術文化に触れることができるよう事業を展開した結果、幅広い年齢層で多くの市民の参加を得ることができた。企画の段階から実行委員会形式で事業を行い、市民参加の公演を実施することができた。特に慈恩寺の国史跡指定を推進するため、慈恩寺を会場にした事業を実行委員会で行い、好評を得ることができた。市民団体や芸術文化の各種団体の発表会等が多く開催され、市民の文化芸術活動の充実が図られた。</p>

6. 今後の対応等

方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>幅広い年齢層の市民が、その年代にあった質の高い芸術文化を楽しむことができるよう事業を展開するとともに、今後も市民の芸術文化に対する取り組みを支援していく。若者が参加できる公演等を企画し、市民の参加を求めながら魅力ある事業としていく。演劇芸術講座を開設し、市民劇団の立上げを図る。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 教育振興計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目 目	10 教育費
	2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり		4 社会教育費
			3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	運営にあたり専門員1名を配置し、常設展示のほか、「市民ギャラリー」として特別企画展を含む数々の展示を行った。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,575	補正額等		合計	5,575	決算額	4,975
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

特別企画展実施状況 ①「佐藤満染色展」(4・5月)来館者 1,248名 ②校舎と美術(9・10月)来館者 673名 ③アートツリーやまがたvol. 1(1・2月)来館者 1,215名 ④「渡辺喜雄回顧展」(1・2月)来館者 951名 ほかにも、「慈恩寺スケッチコンクール」「屏風絵展」「子ども芸術展」等の企画展を開催 ※年間の入館者数、前年度 11,658名に対し、13,443名の実績を得ることができた。 展示用台等を購入により、展示の幅が広がった。

5. 事業の評価

「佐藤満染色展」等、地元在住のレベルの高い芸術家の展示に加え、「子ども芸術展」等の身近な作品を鑑賞する機会を提供できるよう心掛け、来館者の増加につなげることができた。特に特別企画展の「アートツリーやまがたvol. 1」においては、障がい者や若手芸術団体を巻き込むイベント型の展示となり、今後につながる県内でも数少ない例の内容となった。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	鑑賞者のニーズに応え新進気鋭の若い芸術家を見据えながらより魅力的な展示会を企画していく。また気軽に立ち寄り、芸術的関心を高めることのできる美術館づくりに取り組み、来館者の増加につなげていく。開館5周年にあたり、記念事業として企画展を開催する。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	社会教育活動事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計 画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり 2 家庭の教育力を高めるまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	各種団体及び各種事業への補助等により活動の積極的支援を行い、地域の人々の社会教育活動の活性化を図る。
事業内容	西村山地区視聴覚教育協議会への負担金をはじめ、社会教育団体活動、コミュニティ活動、家庭教育事業への支援を行う。 また、新成人が実行委員会を組織し、自分たちで成人式を運営することへのサポートを行い、仲間との連携協働の大切さを感じてもらう。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,521	補正額等		合計	3,521	決算額	3,332
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 成人式の実施(8月14日 新成人が実行委員会を組織し式典運営 参加者:392名)</p> <p>(2) 家庭教育推進事業として「やまがた子育て講座」を実施(市内各小学校で実施 11小学校 参加者:625名) 「幼児共育ふれあい広場」を実施(市内各保育所で実施 7保育所 参加者303名)</p> <p>(3) 西村山地区視聴覚教育協議会については、新規事業として「ビデオ教材移動貸出」と「キッズシアター」を行い、教材・機材の利用促進に取り組んだ。</p> <p>(4) 青少年育成市民会議、公民館連絡協議会、子ども会育成連合会への事業費助成等の支援及び高校生ボランティアへの育成支援を行った。</p>

5. 事業の評価

<p>成人式は、新成人による実行委員により企画・運営され、式典は厳粛のうちに挙行された。また、アトラクションでは、神輿会のお祝い渡御や恩師との語る会が行われ、賑やかな思い出に残る成人式で、連帯感や郷土愛を育み、郷土への帰属意識が高まった。</p> <p>子を持つ親の学習機会の充実を図るために実施した「やまがた子育て講座」「幼児共育ふれあい広場」については、参加しやすいように学校等行事に合わせて講座を開催し、内容も座談会やグループワーク方式を取り入れ、参加者から好評を得た。座談会などでは、各保護者が子育てに関する悩みごと等について話し合わせ、参加者からは「こういった機会をぜひ継続してほしい」と要望があった。</p> <p>西村山地区視聴覚教育協議会の教材・機材の利用については、市内の幼児・老人施設等への広報により、社会教育部門における利用の増加が見られた。また、新規事業でビデオ教材移動貸出、キッズシアターを実施したことにより、主に幼児施設の利用の増加に繋がった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	家庭教育講座(やまがた子育て講座)については、市内各小学校11校で実施したが、今後は市内各中学校も対象として実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興 計画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	地区公民館分館の相互の連携を図り、自主的な活動や研修会等の各種事業を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,900	補正額等		合計	3,900	決算額	3,617
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1)分館長、主事の委嘱(市内61分館の分館長・主事)</p> <p>(2)生涯学習活動推進員の委嘱(15名)</p> <p>(3)公民館事業用具等の整備と活用(スポーツ用品、印刷機用消耗品)</p> <p>(4)まなびのふるさと推進事業</p> <p>① 社会教育関係各種団体等との共催事業の実施 18件 市公民館大会(市公民館連絡協議会) 2月3日(日) 150名参加 市子ども会育成委員研修会(市子ども会育成連合会) 12月9日(日) 58名参加 その他 地区子ども会事業、地区文化祭、地区民スポーツ・レク大会等</p> <p>② 分館連携事業の実施 4件 分館が地区公民館と連携し、地域力の向上やコミュニティ醸成のために実施 ・東新山分館－東新山町民大運動会 ・みずき分館－防災研修会、新年会 ・木ノ沢分館－木ノ沢地区夏祭り ・谷沢分館－谷沢納涼盆踊り大会</p> <p>(5)各地区公民館運営会議等の設置 中央公民館運営審議会 8名 年1回 東部地区公民館運営会議 18名 年2回 南部地区 " 9名 年1回 柴橋地区 " 12名 年1回 西部地区 " 22名 年1回</p>	
--	--

5. 事業の評価

<p>中央公民館及び地区公民館の運営会議における意見や市民からの要望の把握により事業を実施し、市民の参加を得て地域住民が主体になれるよう公民館活動を行ってきた。公民館連絡協議会と連携し、分館連携事業、ふれあい交流事業等のまなびのふるさと推進事業を活用していただき、分館や各種団体の自主的な活動(研修や事業)の支援に寄与しており、多様な事業の展開が図られている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域活動の中核を担う公民館では、それぞれ特色ある様々な活動が行われている。生涯学習の拠点施設としての役割に併せ、地域住民が集い、語り合い、住民相互の絆を高め合う場となるよう、さらに各公民館の活動を支援協力していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり		4 社会教育費
			10 生涯学習推進費

2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全11小学校児童を対象に教室を開催。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,103	補正額等		合計	2,103	決算額	1,340
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>市内全11小学校児童を対象に5教室を開催。各教室にコーディネーターを配置し、安全管理員等民間ボランティアの支援を受け、様々な学びや遊び、地域独自の体験活動等を行い、各教室とも10日間開設した。夏休みおさらい学習や埋蔵物展見学などの学習活動や草木染め、ペットボトル風鈴作りなどの体験活動を行った。</p> <p>(1) コーディネーター 5名 (2) 安全管理員 38名 (3) 参加者総数 274名</p> <p style="text-align: center;">[内訳 寒河江小・西根小・三泉小 79名 寒河江中部小 71名 南部小 45名 柴橋小 37名 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小・田代小 42名]</p>	
--	--

5. 事業の評価

<p>各教室とも、地域の特性に応じた子どもの居場所づくりを目指し、事業内容等を工夫することにより、小学校1年生から6年生まで幅広い学年間の交流がスムーズに進み、充実した教室を展開することができた。また、自然や地域の歴史にふれるなど屋外での体験活動により、自然を大切にしたいや地域への愛着心が育まれた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>放課後子どもプランのもう一つの柱、「放課後児童クラブ」(子育て推進課所管)と連携を図りながら、事業内容がマンネリ化しないよう、より一層活動の充実に努める。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることによる地域力の向上を目指す。
事業内容	分館の新築・増改築及び駐車場舗装等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額		補正額等	15,000	合計	15,000	決算額	15,000
-------	--	------	--------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>(財)自治総合センターの宝くじコミュニティ助成金を受け、島分館の新築工事に対し補助金1,500万円を交付した。</p> <p>【事業内容】 ・事業費 47,022,300円 ・面積等 木造二階建 287.02㎡ ・完成年月日 平成24年11月27日</p> <p>分館の耐震化については、5件の診断を実施した。また、公民館整備事業費補助金交付規程の一部改正を行い、2/3補助を明記した。</p>
--

5. 事業の評価

<p>公民館の整備により、老朽化に伴う様々な課題が解決され、更なる自治活動の活性化が図られている。また、地域活動拠点施設として活用されることで、より強固な地域連帯感の醸成と自治意識高揚が促され、地域コミュニティ活動の充実・発展に繋がっている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>分館の耐震化診断について引き続き実施し、地元との話し合いを行いながら耐震化事業を推進していく。 古い年代に建築された分館の建て替えやトイレの水洗化改修等、地域住民と連携を図りながら、今後も必要な箇所から計画的に実施して分館の機能充実を図っていく。</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	公共施設耐震化事業	生涯学習課
施策体系 (教育振興計画)	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	
		中央公民館

2. 事業の概要等

事業目的	生涯学習の拠点施設及び緊急時の避難施設として、市民文化会館、中央公民館、南部地区公民館、柴橋地区公民館、勤労青少年ホームの耐震化を実施し、利用者の安全安心に資する。
事業内容 予算額決算額	<p>(1)市民文化会館の耐震診断により、補強が必要となったため、耐震補強設計及び耐震補強工事により柱の補強及び強化ガラスの入れ替えを行う。 予算科目 10款 教育費 4項 社会教育費 2目 文化センター費 当初予算額 5,586千円 補正額等 29,889千円 合計額 35,475千円 決算額 5,250千円</p> <p>(2)中央公民館(1、2階)の耐震補強設計及び耐震補強工事 南部地区公民館(調理室、和室、体育館等)の耐震補強設計及び耐震補強工事 柴橋地区公民館(和室、研修室、調理実習室、事務室等)の耐震補強設計及び耐震補強工事 予算科目 10款 教育費 4項 社会教育費 4目 公民館費 当初予算額 0千円 補正額等 83,892千円 合計額 83,892千円 決算額 50,134千円</p> <p>(3)勤労青少年ホーム(事務室、講習室、体育館等)の耐震補強設計及び耐震補強工事 予算科目 10款 教育費 4項 社会教育費 6目 勤労青少年ホーム費 当初予算額 0円 補正額等 21,130千円 合計額 21,130千円 決算額 16,275千円</p> <p>※国の社会資本整備総合交付金を活用</p>

3. 事業の実施状況

事業の実施状況	<p>(1)市民文化会館 9月に耐震診断完了。12月補正により耐震補強設計、さらに3月に耐震補強工事発注のため年度内完了は無理となり、全て次年度へ繰り越した。工期 平成25年12月</p> <p>(2)中央公民館・柴橋地区公民館 6月補正により耐震補強設計及び耐震補強工事を実施。</p> <p>(3)南部地区公民館 6月補正により耐震補強設計を行うが、工法に検討を要したため耐震補強工事を次年度へ繰り越した。工期 平成26年3月</p> <p>(4)勤労青少年ホーム 6月補正により耐震補強設計及び耐震補強工事を実施。</p>
---------	--

4. 事業の評価

事業の評価	耐震補強工事により、生涯学習施設及び緊急時の避難施設としての安全性を高めることができ、利用者の安全確保が図られた。
-------	---

5. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	繰り越し分の耐震化工事については、安全を期し利用者のため早期完成に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。また、「図書館管理システム」を有効に活用し、児童生徒の読書環境の充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,078	補正額等		合計	6,078	決算額	5,660
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【読書活動推進員の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 5名 (23年度:3名から増) ・配置校 ① 寒河江小・西根小・(陵東中) ② 寒河江中部小・三泉小 ③ 南部小・柴橋小(陵南中) ④ 醍醐小・高松小・(陵西中) ⑤ 白岩小・幸生小・田代小 ・業務内容 ① 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言 ② 図書室の整備 ③ その他、児童生徒の読書活動推進のための業務 ・勤務体制 年間220日程度、各小学校に曜日ごとに2、3日の勤務(田代小、幸生小は各1日)、中学校は、必要に応じて対応 総時数5,850時間 (1人平均1,170時間) <p>【読書環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理システムのサポート業務の委託
--

5. 事業の評価

<p>読書活動の推進は、「さがえっこ育みアクションプラン」の中でも重要な項目に位置づけている。今年度から、読書活動推進員を5名に増員し、1人の担当を2~3校とした。ほとんどの小学校で2日以上勤務体制となったため、児童生徒が活用しやすい学校図書館づくりや、国語の授業での活用を充実させることができた。今後、中学校での計画的な活用も図っていく必要がある。また、22~23年度に整備した「図書館管理システム」については、今年度は委託によるサポートを実施し、スムーズな運用ができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今年度からの増員により活動の充実が図られた。当面はこの体制で活動内容の充実を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館:業務係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 ₁ 教育費
	3 読書の盛んなまちづくり		4 ₁ 社会教育費
			5 ₁ 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	図書館施設の機能保持のため、空調機器保守点検業務、清掃や機械警備業務等を委託するほか、管理運営のために不可欠な物品等の整備、修繕等を行う。更なる利便性向上のため、市民のニーズに的確に対応した管理運営を行う。 また、かねてから要望のあった屋根付車いす利用者専用駐車場の設置と合わせて、東側入口の一般開放及び東側駐車場の新設を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	26,673	補正額等	546	合計	27,219	決算額	26,616
(備考)							

4. 事業の実施状況

<p>【保守点検、管理運営業務】</p> <p>設備管理業務、機械警備業務、冷暖房設備保守、清掃業務、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守、図書館情報システム賃借</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東側入口の一般開放に伴い、東側入口前駐車場(14台)の新設及びおもしろい駐車場の設置 <p>【工事、修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす利用者専用駐車場整備工事、東側通路改修(防犯カメラ設備)工事 外
--

5. 事業の評価

<p>多くの市民が利用する図書館の安全で快適な環境の提供に努めており、平成24年度は、かねてから要望があった車いす利用者専用駐車場を整備したほか、東側駐車場新設と東口通路の一般利用を可能にしたことにより、多くの利用者から喜ばれ利用増に繋がった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>図書館機能の向上と安全で快適な環境の維持管理を図る。特に東口の冬期間の利用者の更なる利便性の向上を検討していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	市民の生涯学習の中核的役割を担う施設として、図書・視聴覚資料等を購入・収集し、図書資料及び図書館機能の充実を図る。
事業内容	一般図書、児童図書、AV(音響・映像)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、公立図書館の役割を踏まえ、幅広いニーズに対応しながら計画的な整備を進める。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,388	補正額等		合計	7,388	決算額	7,385
(備考)							

4. 事業の実施状況

【図書資料等の購入】							
図書館蔵書状況(平成25年3月末)							
① 一般図書	102,415冊	(前年度比	408冊減)	「購入冊数	2,652冊」		
② 児童図書	30,429冊	(前年度比	55冊増)	「購入冊数	589冊」		
③ AV(音響・映像)	3,963点	(前年度比	20点増)	「購入点数	25点」		
④ 雑誌	2,858冊	(前年度比	15冊増)	「購入冊数	935冊」		

5. 事業の評価

<p>公共図書館の使命として、本館では、郷土の歴史や文化に関する資料、地域情報誌など幅広い資料の収集に努めるとともに、未就学児の利用増加に対応して児童書の重点整備に努め、図書館としての機能の充実が図られ、喜ばれた。</p> <p>また、図書資料の選定にあたっては話題の図書やベストセラー、各種受賞図書やリクエストなど、利用者からの要望も考慮しながら、且つ「図書館資料選定要領」に基づき購入を進めた結果、利用者の年齢層や職種等が更に幅広くなっただけでなく、個人利用者に加え乳幼児や児童を伴った家族連れの利用者が目に付くようになるなど、市民のための図書館として役割を果たすことが出来た。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	図書資料等の購入に対する市民のニーズをより積極的に把握し、自主的な読書活動や生涯学習を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系 〔教育振興計 画〕	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	3 読書の盛んなまちづくり		4 社会教育費
			5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点施設として、利用者目線の魅力ある図書館づくりを進め、読書の盛んなまちづくりを推進する。
事業内容	読書の盛んなまちづくりを推進するため、生涯各期における読書活動を支援する定例事業や図書館自主事業を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,553	補正額等		合計	1,553	決算額	1,540
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 定例事業 ① ボランティアグループによる「おはなし会」開催(4団体120回) ② ありますか？子どもに読ませたい本のコーナーの設置 ③ 「ブックテマコーナー」設置(12回) ④ 新生児及び未登録児童の一斉登録事業の実施(234名) ⑤ 市子育て推進課とブックスタート支援ボランティアとの共同で「ブックスタート事業」実施 ⑥ 3ヵ月児・9ヵ月児を対象とした「絵本の部屋」開催(24回) ⑦ 展示ホールを活用した多様な展示会を開催(22団体等)
(2) 図書館自主事業 ① 実行委員会主催「さくらんぼの都市(まち)さがえ全国俳句大会」の開催(7月7日 会場:文化センター 200名参加) ② 「銀河鉄道の夜: 幻灯会・原画展」と講演会の開催(7月29日 80名参加) ③ さがえ図書館まつり2012の開催 (8月19日 約200名参加) ④ 読書講演会「今・こたますとき～みずゞさんのまなざし」の開催(9月30日 会場:文化センター 180名参加) ⑤ 読書普及事業「MあんどB・人形劇のつどい」公演(10月19日・市内幼稚園・保育所対象 420名参加) ⑥ 月夜の朗読会「二胡と朗読の夕べ」の開催(10月28日 朗読者公募5名 50名参加) ⑦ 「歌おう・遊ぼうわらべ唄」の開催(12月2日 30名参加) ⑧ 安孫子萩聲ギャラリー常設展示

5. 事業の評価

定例事業では、展示ホールを活用した多彩な展示や、今日的な話題や関心のある事柄を取り上げた「ブックテマコーナー」などが、利用者の好評を得た。また、未就学児と絵本との接点に重点を置いた、「ブックスタート事業」や、ボランティアグループによる「おはなし会」の開催、「おはなしのひろば」「絵本の部屋」の開催などの活動の成果があらわれた。 自主事業では、「図書館まつり」に加え、朗読や俳句の多様な事業を展開し、多くの参加者から好評を得た。これらの事業によって、公共図書館としての役割である、図書館をきっかけとした文化活動の広がりや深まりにも繋がった。
--

6. 今後の対応等

方 向 性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>読書の盛んなまちづくりに貢献するための、定例事業及び図書館自主事業の充実がなお一層求められている。さくらんぼ俳句大会の拡充、郷土の文学を探るシリーズ化事業の展開など、市民のニーズを的確に把握しながら対応していきたい。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興計	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり		5 保健体育費
			1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる社会の実現を目指す。
事業内容	各種スポーツ団体や寒河江市総合型スポーツクラブ「アспортさがえ」及び(財)寒河江市体育振興公社との連携を図りながら、スポーツ教室や講習会を開催し、スポーツに親しむ基盤整備とスポーツ人口の拡大を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,615	補正額等		合計	1,615	決算額	1,451
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

より多くの市民がスポーツに親しむことができるように、各種スポーツ団体や寒河江市総合型スポーツクラブ及び財団法人寒河江市体育振興公社に事業の一部を委託し、様々なスポーツ教室や講習会等の実施を通して、多くの市民にスポーツの機会を提供した。

(1) 少年スポーツ活動育成事業(人数は延べ人数)
 【スポーツ教室】 ① 野球教室(1回 50名) ② カヌー教室(3回 29名)
 【スポーツ大会】 ① 野球(9チーム) ② バレーボール(10チーム) ③ ミニバスケットボール(11チーム)
 ④ バasketボール(16チーム)

(2) ファミリースポーツ推進事業
 ① 市民スキー教室(1回 80名) ② ニュースポーツ出前教室(7回 282名)

(3) 生涯スポーツ推進事業
 ① 市スポーツレクリエーション祭(1回 477名) ② 婦人ナイターバレーボール大会(7チーム)
 ③ 成人スポーツ講座(4講座 24回 377名)

(4) アспортさがえへの委託事業(人数は延べ人数)
 ① ちびっこスポーツ教室(16回 358名) ② 親子スポーツ教室(12回 306名) ③ スポーツ面白講座(3回 51名)
 ④ ジュニアスポーツ教室(20回 507名)

(5) 財寒河江市体育振興公社の自主事業 スポーツ教室の開催(人数は延べ人数)
 ① 少年少女柔道教室(20回 486名) ② 少年少女剣道教室(20回 138名) ③ 親子テニス教室(8回 77名) ④ 少年少女ソフトテニス教室(10回 108名) ⑤ バドミントン教室(8回 83名) ⑥ 水泳教室(6回 304名) ⑦ 弓道教室(10回 67名)

5. 事業の評価

様々なスポーツ教室を開催することにより、多世代の市民のニーズに応じたスポーツ活動に対応できており、十分に成果が得られている。2年目の事業である成人スポーツ講座は、4地区で実施され、ニュースポーツなどそれぞれのニーズに合わせた内容で行われた。また、総合型スポーツクラブや財寒河江市体育振興公社への委託事業についても、新たなスポーツ人口の獲得に貢献しており、期待した成果が得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	より多くの市民に、スポーツを親しむ機会と場を提供できるよう各団体等との連携をさらに強めるとともに、そのことを通して各団体の自主活動がさらに充実できるよう支援に努めていく。 最上川寒河江緑地多目的水面広場のオープンにより、カヌー協会や指定管理者等と連携して、カヌー競技の普及拡大に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	各種スポーツ大会委託事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	各種スポーツの普及振興と同時に競技力の向上を図る。
事業内容	寒河江市体育協会に各種スポーツ大会運営(19競技25大会)を委託し、各種スポーツの普及振興を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	724	補正額等		合計	724	決算額	704
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市体育協会加盟団体に対し19競技25大会を委託実施し、それぞれが盛況を得た。</p> <p>(1) 寒河江市体育協会への委託事業(19競技・25大会) 704千円 野球・陸上競技・バスケットボール・卓球・弓道・バレーボール・ソフトテニス・テニス・バドミントン・柔道・剣道・グランドゴルフ・インディアカ・ソフトボール・新卓球・ターゲットバードゴルフ・バウンドテニス・空手道・パークゴルフ等各種大会</p>

5. 事業の評価

<p>各競技団体へ事業を委託することにより、多種目にわたりスポーツの機会を提供し、多くの市民の参加を得た。種目も、競技スポーツからニュースポーツ、レクリエーションスポーツまで多岐多世代にわたり、市民の参加を得ることができている。ニュースポーツについては、愛好者の増大に向けて各団体の自主的運営の支援にもなっており、成人層のスポーツ参加率の向上に寄与しており、期待した成果が得られている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各種スポーツの普及振興、競技力の向上のため、継続していくことが必要である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり		5 保健体育費
			1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	一人でも多くの市民がスポーツに親しんでもらうことを目的として、安全で快適な利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	利用者が安心して、快適に利用できるよう体育施設の整備・改修を行う。特に新たな施設として、最上川寒河江緑地多目的水面広場のオープンに向けて、利用しやすい施設整備を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	35,418	補正額等	23年度からの繰越	30,000(※)	合計	65,418	決算額	64,128
(備考)								
(※)30,000千円は、国の社会資本整備総合交付金で、平成23年度から繰り越していたものである。								

4. 事業の実施状況

最上川寒河江緑地や市民体育館等の施設整備と、安全・安心な施設を提供するため、次の工事を実施した。	
① 市民プール25mプール機械ヘッダー及び操作弁等交換補修工事	2,100 千円
② 市民体育館コインシャワー設置工事	3,045 千円
③ 最上川寒河江緑地多目的水面広場カヌーコース整備工事	25,772 千円
④ 最上川寒河江緑地案内標識等整備工事	4,200 千円
⑤ 最上川寒河江緑地艇庫新築工事詳細設計等及び施工管理業務	966 千円
⑥ 最上川寒河江緑地艇庫新築工事	20,790 千円
⑦ 最上川寒河江緑地サービス施設等整備工事	5,244 千円
⑧ 最上川寒河江緑地カヌー競技浮棧橋施設設置工事	998 千円
⑨ 最上川寒河江緑地放送施設設置工事	803 千円

5. 事業の評価

安全で安心な施設の整備のために、必要とされる工事・改修等を予算の範囲内で実施した。市民プールのろ過装置補修による漏水の改修工事と、市民体育館コインシャワー設置工事により、利用者の利便性の向上に努め好評を得た。また、最上川寒河江緑地多目的水面広場において、カヌーコースの整備やカヌー艇庫新築工事等を実施し、施設の整備・充実を図った。さらに、緑地内の案内標識やサービス施設等の整備工事を進め、利用者の安全に配慮したサービスを提供し、期待した効果が得られた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	多くの人が、安全で快適に施設を利用し、スポーツの盛んなまちづくりに貢献するため、今後も計画的な整備に努めていく必要がある。 最上川寒河江緑地多目的水面広場のオープンに伴い、貸出用カヌーを整備していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公共施設耐震化事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	予算科目	10 教育費
			5 保健体育費
			1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	社会体育施設の耐震化を実施し、利用者の安全安心に資する。
事業内容	市民体育館付帯施設及び市民プール北側の備蓄倉庫の耐震診断業務を実施し、耐震化工事の必要性について判定。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,190	補正額等	38,920	合計	43,110 内38,500千円 (※)は25年度へ繰越	決算額	4,305
(備考) (※)38,500千円は、国の社会資本整備総合交付金により施設整備工事費として補正したものであるが、年度内に執行することができないことから、全額を平成25年度に繰り越して執行することとしたものである。							

4. 事業の実施状況

(1) 寒河江市市民体育館付帯施設鉄骨造建物耐震診断業務委託	1,575 千円
(2) 寒河江市備蓄倉庫鉄骨造建物耐震診断業務委託	2,730 千円

5. 事業の評価

耐震診断業務により、耐震補強工事の実施が確定し、利用者の安全安心のための対応が推進された。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	耐震診断結果に基づき、2施設について利用者の不便とならないようスケジューリングしながら、耐震化工事を進める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策、並びに新第5次振興計画の重点「さがえっこすくすく」プロジェクトの一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の中核となる事業を実施する。
事業内容	「さがえっこ育みアクションプラン」推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援するしくみづくりを行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,053	補正額等		合計	1,053	決算額	834
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>【推進本部の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年3回開催し、事業の推進方策等を検討 ・23年度に制定した「さがえっこの育み10か条」を指針とし、幼稚園・保育所、小中学校の全保護者にリーフレットを配布するなどの啓発活動を実施 ・「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催(萩原 光氏による「子育て講演会」等の内容、参加者105人) <p>【学校支援地域本部事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 1,623人 (23年度:1,310人)

5. 事業の評価

<p>事業2年目となる本年度は、指針となる「さがえっこの育み10か条」に基づき、各小中学校や幼稚園・保育所等で重点を定め、家庭や地域への働きかけを行いながら、実践を行うことができた。また、学校支援地域本部事業についても、学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者が増え、活動の広がりが見られた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>アクションプランの指針となる「さがえっこの育み10か条」については、さらに多様な手段で周知・啓発を図っていくとともに、特に市民の認知度を高めるために、重点項目を設定した取組等を工夫していく必要がある。また、学校支援地域本部については、今後、中学校での実施を進め、小中学校にかかわってくれる地域住民を増やしていくことが重要である。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	いのちと心を育む学校づくり支援事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 2 道徳心、社会性を育むまちづくり 3 読書の盛んなまちづくり 4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり 6 国際化に対応したまちづくり	予算科目	10 教育費
	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり III 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 2 家庭の教育力を高めるまちづくり 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり		1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策並びに新第5次市振興計画の重点「さがえっこすくすく」プロジェクトの一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の推進のために、学校における取り組みの具現化を図る。
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,400	補正額等		合計	3,400	決算額	3,400
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>各学校において、市の重点施策等を具現化した教育活動を進めるために本事業を活用している。具体的には、23年度から推進している「さがえっこ育みアクションプラン」に基づき、①食育推進活動、②子どもの生活リズムの確立を図る活動、③子どもの道徳心や社会性を育む活動、④読書の盛んな学校づくり活動などについて、各学校で家庭や地域と連携した取り組みが成された。</p> <p>また、特色ある教育活動については、地域の自然や歴史、伝統文化を生かした取り組みが、多くの小学校で実施されている。</p> <p>(例)三泉小:さくらんぼ学習、醍醐小:ホタル・慈恩寺の学習、幸生小:四季の学校、田代小:大黒舞、南部小:ピオトープでの学習</p>

5. 事業の評価

<p>「さがえっこ育みアクションプラン」の学校における具現化という観点から、重要な事業となっている。各校とも地域の特性や児童生徒の実態を踏まえながら、効果的な事業を展開している。</p> <p>また、予算の執行については、各学校の事業計画書に基づいて配当しており、学校の主体的な活動が実現しやすい事業となっている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	市全体の教育課題や、学校が独自の課題に主体的に対応していくために重要な事業であり、今後も、ねらいを明確にしながら事業を推進していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
			4 教育研究所費

2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。また、児童生徒の学力検査及び知能検査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,116	補正額等		合計	5,116	決算額	4,793
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【教育研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究紀要編集委員会 研究紀要「教育風土さがえ」第25号を発刊(会議2回) ○研究部 課題研究部「テーマ:確かな学力を育成するための教育課程の工夫と改善」(研修会2回) ○研修部 7部会(授業改善・生徒指導・食育・教育財政管理・情報教育・特別支援教育・読書活動)(研修会各2回) ○研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体講演会(7月31日) 前静岡県掛川市立城北小学校長:鈴木功一氏「子どもの思考を促す学び合い」 ・全員集会全体会(5月21日) 荒木利見教育長「今、伝えたいこと～40年間の教育活動で学んだ実践的教育論～」 ・指導者研修会(9月21日) 山形大学附属小学校主幹教諭:村上ゆかり氏「音楽の授業づくり～合唱指導を中心に～」 ○学力向上対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上)、小2、4、6、中1における知能検査の実施(4月) ・学力向上対策委員会の開催(5月)と、結果を分析した冊子の発行(7月) ・結果の分析を受けた、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み

5. 事業の評価

<p>学習指導要領の改訂もあり、教職員の研修内容の充実が喫緊の課題である。研究部では「確かな学力を育成するための教育課程の工夫と改善」をテーマに研究を進め、今年度は確かな学力を育むための小中連携の在り方についての研究を深めた。</p> <p>また、各研修部においては、課題に応じた主体的な研修を実施した。研修の成果は、日々の授業改善等、各校における教育活動の充実に生かされている。</p> <p>児童生徒の学力の向上については、学力検査によって児童生徒一人ひとりの学力の状況を適切に把握し、日常の個に応じた指導に活用されている。また、結果については、1学期中に学力向上対策委員会で分析を行い、冊子にして各校に配布した。分析内容は、2学期以降の学習指導改善の取り組みに有効に活用されている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>新たな教育課題への対応のための教育研究所の活動や、児童生徒の個々の学習状況を適切に把握するための学力テストの実施は必要な事業であり、今後も継続していくことが重要である。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興 計 画	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 ₁ 教育費 1 ₁ 教育総務費 3 ₁ 理科教育センター費

2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	150	補正額等		合計	150	決算額	142
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ○研修活動(参加状況:所員研修10名・小5年研修11名・小3研修12名・小4、6年合同研修15名・一般研修17名・中学校研修5名) ○調査研究(指導案・小中理科大会要項の収集) ○備品器具の貸し出し(備品・教材貸出5件) ○会報の発行(必要に応じて随時発行)
--

5. 事業の評価

<p>理数教育の充実が謳われ、小・中学校における理科の指導内容について専門的な研修や教材分析などが教員に求められている。本年度の研修では、各学年の指導内容から研修を深めたい単元を適切に選択して実施された。観察実験の工夫・児童生徒の興味関心喚起にかかる内容であった。また、これからの理科について教員が知見を広める一般研修会も実施された。さらに、すぐに授業で使える教材教具を提供し、各学校における理科の授業改善に資する活動となった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>理科教育については、主体的な問題解決を促す事象提示や教材の開発、学んだことを活用できるものづくりなどの研修内容を充実させるとともに、小・中接続を踏まえた系統的な研修も重要であり、そのための予算の拡充が必要である。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の学ぶ力を育み、確かな学力をつけるための研究を推進する。
事業内容	市内小中学校14校の中から、毎年2校に2か年ずつの研究を委嘱する。研究活動の成果は、市内の教職員が参集する公開研究発表会等において発信し、市全体の教育活動の向上に役立てる。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	400	補正額等		合計	400	決算額	400
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>寒河江市教育委員会研究委嘱校(兼:寒河江市教育研究所研究協力校)として2校を委嘱</p> <p>【南部小学校】平成23～24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ: 生き生きと学び合う子どもの育成～「教えて考えさせる授業」を通して、すべての子どもに「確かな学力」を～ 公開期日: 10月11日(木) 参加者数: 276名(市内:222名、市外:24名、来賓・助言者等30名) 算数科を中心に「教えて考えさせる授業」を取り入れ、教える場面・考えさせる場面を工夫し、生き生きと学び合う子どもの育成をめざして研究を行った。 <p>【三泉小学校】平成24～25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ: 自分の考えを持ち、生き生きと伝え合う子どもの育成～教科のねらいを達成するための交流のあり方～ 次年度公開に向け、山形大学教職大学院三浦登志一准教授を講師とした研修会や授業研究会を実施し、教科のねらいを達成するための子どもたちの交流のあり方についての研究を行った。

5. 事業の評価

<p>公開研究発表会には、市内すべての小中学校を含む多くの学校から参加者を得、研究の成果を共有することができた。公開研究発表会だけでなく、それに向けた校内の授業研究会や指導案作成検討会等も充実し、教員の資質向上が図られた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>市内各学校の研究の活性化を図り、市内教員同士で広く意見交流が行われることで、児童生徒に確かな学力を身につけさせることにつながる。そのためにも、今後も継続していくことが重要である。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	外国語指導助手招致事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 6 国際化に対応したまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市内小学校の外国語活動や、中学校の外国語の学習を充実させるとともに、児童生徒の国際感覚を育む。
事業内容	外国語指導助手(ALT)を2名配置する。各小中学校への派遣により、授業やその他の教育活動の場面で、協働で授業を行うなど、指導の補助を務めるほか、教員の研修においても活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,105	補正額等		合計	1,105	決算額	884
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

2名のALTを市内14小・中学校に学期ごと派遣計画を立て、小学校の外国語活動・中学校の外国語学習の支援を行った。	
○ ALTの派遣	<小学校> 1学期61回、2学期 69回、3学期 39回、計 169回 <中学校> 1学期24回、2学期 22回、3学期 13回、計 59回、その他、英語スピーチ大会への指導を実施 <その他> 寒陵スクール 1回

5. 事業の評価

<p>小学校においては、曜日ごと派遣する学校を固定し、学校規模に合わせた回数も配慮して活用することができた。中学校においては、学習内容に応じて派遣日を希望してもらい、ほぼ第1希望どおりに派遣することができ、有効に活用することができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	英語教育に関する課題を解決する上でALTによる支援は不可欠である。今後も小学校における外国語活動、中学校における外国語の学習充実に向け、継続していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 ₁ 教育費 1 ₁ 教育総務費 3 ₁ 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 また、不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,279	補正額等		合計	4,279	決算額	3,632
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【教育相談室の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名) ・相談の件数： <学 校> 来室相談 30件、電話相談 121件、学校訪問 72件 <保護者> 来室相談 41件、電話相談 211件、家庭訪問 147件 <p>【寒陵スクールの概要】(教育相談員が運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童生徒：計5名(小学生1名、中学生4名) ・開設日数：213日(勤労青少年ホーム：200日 市立図書館：6日 フローラ・SAGAE：7日) ・その他：長期休業中の学習(2日)、遠足等の体験活動やALT活用学習、保護者懇談会(2回)を実施

5. 事業の評価

<p>年度末集計による年間30日以上欠席者は、小学生6名(前年5名)、中学生31名(前年28名)と、前年に比べてやや増えており、今後も引き続き未然防止を含めた取り組みが必要である。</p> <p>寒陵スクールについては、学校への登校が増える、志望する高校に進学する等の成果が全員に見られた。また、訪問相談についても、中学3年生が志望校へ進学したり、学校へ復帰して卒業式に出席したりするなどの成果を上げた。</p> <p>教育相談については、保護者や教員からの相談に対し、福祉部局などの関係機関との連携も密にしながら、きめ細やかな対応を行った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	家庭に関わる問題は年々多様化しており、今後とも相談機能の充実を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習補助員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	101 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	項	11 教育総務費
		目	31 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	個別指導が必要な児童生徒への支援を行い、教育活動の充実を図る。
事業内容	通常学級における個別の指導が必要な児童生徒や、特別支援学級における障がいの重い児童生徒等に対し、学習補助員を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	16,293	補正額等		合計	16,293	決算額	15,710
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

【配置校】	寒河江小(2名)、寒河江中部小(3名)、南部小(2名)、西根小(3名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(2名)、三泉小(2名)、陵東中(2名)、陵西中(1名) 計11校(21名)
【業務内容】	学級担任を補助し、個別支援が必要な児童生徒への学習・生活上の支援を行う ① 通常学級における、個別の支援が必要な児童生徒への対応 ② 特別支援学級における、障害の重い児童生徒や多人数の児童生徒への対応
【勤務体制】	年間200日程度(授業日)、学校の実情に応じて4～6時間の勤務、総時数17,212時間(1人平均820時間)

5. 事業の評価

今年度から、通常学級と特別支援学級の区分をなくし、各学校の実情に合わせて柔軟に活用できるようにした。適切に補助員を配置することにより、有効な活用がなされ、個別指導が必要な児童生徒の個々の学びが保障されている。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	通常学級における個別指導の必要な児童生徒は全体的に増加傾向にある。各学校の児童生徒の実態を正確に把握し、学習補助員を適正に配置するとともに、時間数の増加等、より充実した対応が必要である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力による通学が困難で、保護者等の付添による通学ができない児童生徒に対し、タクシーによる送迎で通学を支援するとともに、保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校または下校のためのタクシー運行を市内タクシー会社に委託し、タクシー利用による通学支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	924	補正額等	20	合計	944	決算額	944
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

1. 実施	登校または下校時の通学支援
2. 利用状況	小学校 : 6校、7名、延べ 829回 中学校 : 1校、1名、延べ 193回 合計 : 7校、8名、延べ 1,022回

5. 事業の評価

対象児童生徒に応じたルートの設定と、家庭、学校及びタクシー運行业者が、児童生徒の家庭情報を共有することで円滑な連絡体制が図られ、安全かつ安心な通学と適切な就学機会の確保及び保護者の負担の軽減を図った。 下校時の支援を望む保護者の声があることから、平成24年度は、登校時か下校時を選択できるようにしたことで、利用拡大が図られた。 通学支援の利用者は8名であったが、うち、ほぼ毎日の利用者が6名おり、必要性は極めて高い。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	現行は、登校時か下校時のいずれか一方の支援であるが、登下校双方の支援も検討しながら今後とも本事業を継続する必要がある。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	ICT活用支援員が小中学校を巡回し、パソコン等ICTを活用した教育活動について支援を行い、小中学校のICT活用に係る教育等を推進する。
事業内容	小中学校におけるICTを活用した授業及び校務処理を円滑にするため、ICT活用支援員が小中学校を巡回し、児童生徒及び教職員に対する支援活動を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,000	補正額等		合計	7,000	決算額	6,327
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

ICT活用支援員2名が、延べ432日小中学校を巡回し、児童生徒及び教職員に対する支援活動を行った。

5. 事業の評価

<p>ICT活用支援員の活動は、機器の設定や不具合の修復等のメンテナンス、学校ホームページ作成の環境づくり、情報モラル(インターネット犯罪)に関する講習会を実施するなど、ICTの活用はもとより情報モラル教育等においても欠かせない事業となっている。</p> <p>これまでの実績を踏まえ、各校ごとの支援内容、日程等の十分な調整や連携が図られ、教育研究所研修部会での実務研修を行うなど支援内容も充実している。その結果、教職員のICT活用技術の向上と定着が図られつつある。</p> <p>ICT機器・ソフトウェアや教材、その活用方法が多様化する中でICT活用に伴う準備等の負担の軽減にも大きな役割を果たしている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教職員のICT活用指導力の向上を図り、ICTを活用した授業等を全ての教職員が自立して行うことができるように支援することを目標としてきたが、教職員が常に最新の情報を入手し、準備から設定・操作、トラブル対応までを行うことには困難が伴う。県の助成を受けての本事業は平成25年度をもって終了となるが、ICT活用の促進等に効果が上がるよう事業の見直しを行いながら今後とも継続していくことが必要である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費
教育振興計画	1 発達に応じた学びを育むまちづくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍児童の保護者(所得制限あり)に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,287	補正額等		合計	11,287	決算額	10,540
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童 : 161名
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童 : 33名

5. 事業の評価

<p>雇用環境の低迷が続く中で、経済的理由によって就学が困難と認められる児童数が高止まり傾向にあり、認定者数にして160名を超える状況が続いており、事業の重要性が高い。</p> <p>平成24年度は学校給食費の支給基準を実費の7割から修学旅行費・校外活動費と同じ9割に改善し、さらなる保護者の負担軽減を図った。</p> <p>就学援助費(要保護・準要保護)の支給については学期ごとに年3回、特別支援教育就学奨励費については年2回の支給を行い、保護者の負担軽減を図っている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	対象世帯の経済状況を適格に評価し、適正な就学援助を実施していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興 計画)	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算 科目	10 教育費
	1 発達に応じた学びを育むまちづくり		3 中学校費
	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍生徒の保護者(所得制限あり)に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,634	補正額等		合計	8,634	決算額	8,618
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒 : 99名
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒 : 8名

5. 事業の評価

<p>雇用環境の低迷が続く中で、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒が年々増加し、認定数にして82名(H23)から99名(H24)になっており、事業の重要性が高い。</p> <p>平成24年度は学校給食費の支給基準を実費の7割から修学旅行費・校外活動費と同じ9割に改善し、さらなる保護者の負担軽減を図った。</p> <p>就学援助費(要保護・準要保護)の支給については学期ごとに年3回、特別支援教育就学奨励費については年2回の支給を行い、保護者の負担軽減を図っている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	対象世帯の経済状況を適格に評価し、適正な就学援助を実施していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算科目	10! 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり	項	2! 小学校費
		目	2! 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため、学校給食を実施する。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	31,604	補正額等	387	合計	30,991	決算額	30,385
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 自校調理方式による完全給食の実施</p> <p>① バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭及び学校栄養士が食と健康の保持・増進などの指導を行い、栄養、食に関する正しい知識の普及や食事のマナー、感謝の心を養った。</p> <p>② 学校給食を通して、地域の産業、経済、伝統や文化への関心を高めた。</p> <p>③ 小学校11校平均給食実施回数：191.2回</p> <p>④ 各種会議、研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内、市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>⑤ 給食用食器、配膳台等の更新</p> <p>⑥ 放射性物質検査の実施</p> <p>(2) 給食調理業務民間委託の実施 西根小学校、柴橋小学校及び高松小学校で調理業務の民間委託を行い、民間活力の導入により経費の削減を図った。</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 栄養バランスのとれた、おいしい給食を提供することにより、成長期にある児童の健康の保持増進に大きな役割を果たした。また、給食を通して望ましい食習慣の形成はもとより、食育等推進のための取り組みも深められた。</p> <p>(2) 日常の衛生管理と給食設備等の点検等を徹底し、安全安心な給食を安定して提供した。また、調理師、担当職員等の研修会を通し充実した学校給食運営を行った。</p> <p>(3) 調理業務を民間委託している学校については、教育委員会、学校及び受託事業者の3者による調理業務連絡調整会議を定期的に開催し、円滑な業務の遂行を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	食育等の取り組みはますます重要になっているため、栄養教諭などによる食と健康の保持増進についての指導を行い、さらに充実した学校給食となるよう努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算科目	10 ₁ 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり		3 ₁ 中学校費
			2 ₁ 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	成長期にある中学生に、安全安心で栄養バランスのとれた、おいしい食事を提供し、心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し、食育の充実を図るため、中学校給食を実施する。
事業内容	(1) 食材の調達に際しては、市内の納入事業、野菜生産者の組織化による安定供給および地産地消の推進を図る。 (2) 配膳業務を円滑に行うため、給食配膳員を配置し効率化を図る。 (3) バランスのとれた食事を提供するとともに、学校栄養士が食と健康保持の指導を行い、栄養、食に関する正しい知識の普及や食事のマナー、感謝の心を養う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	173,104	補正額等	338	合計	173,442	決算額	171,974
-------	---------	------	-----	----	---------	-----	---------

4. 事業の実施状況

<p>民設民営による給食センター方式で、中学校給食の調理・配送業務について市内の事業者と10年間の業務委託契約を締結している。</p> <p>また、JA及び市内の野菜生産組織との地場産野菜の生産・供給協定の締結や市内食材納入事業者の組織化により、地産地消の推進、給食用食材の安定供給体制の構築を行うとともに、地場産野菜の提供情報等を給食だよりで紹介した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 民設民営での給食センター方式による民間のノウハウ等の活用や地元生産物の提供体制の整備等により円滑で効率的な運営体制を構築し、栄養バランスのとれた安全安心な給食を安定して提供した。</p> <p>(2) 調理師や担当職員等の研修会を通し、充実した学校給食運営を行った。</p> <p>(3) JA及び市内の野菜生産組織との協定に基づく地場産野菜の生産・供給については、給食用農産物に関する打合せ会議を定期的に開催し、円滑な業務の遂行を図った。その結果、地産地消の実施状況は、県産野菜が57.9%、寒河江産野菜が40.1%となっている。</p> <p>(4) 中学校給食運営委員会を年2回開催し、中学校給食の円滑な運営に資するとともに、生徒を対象としたアンケートを実施し、寒河江らしさあふれるおいしい給食の提供に努めた。</p> <p>(5) 野菜生産者と中学生の交流給食を実施し、生産者と触れ合うことで、地元農産物に対する理解と食に対する興味・関心をさらに深めた。</p> <p>(6) 放射性物質検査を実施した。</p> <p>(7) 食物アレルギー対応についての検討を重ね、学校給食における事故を未然に防止し、安全安心な学校給食を行うため、マニュアル策定を行った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	食育等の取り組みはますます重要になっているため、栄養教諭などによる食と健康の保持増進についての指導を行い、さらに充実した学校給食となるよう努めていく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 〔教育振興計 画〕	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 ¹ 教育費 4 ¹ 社会教育費 8 ¹ 市史編さん費

2. 事業の概要

事業目的	市史編纂室に市史編纂専門員を配置し、旧家に残る古文書等歴史資料の収集、調査を行い、寒河江市の正しい歴史と文化を後世に伝えていく。
事業内容	古文書等郷土資料の収集、解読、研究及び「市史」の編纂、執筆並びに「市史編纂叢書」等の編纂、発刊を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,882	補正額等		合計	7,882	決算額	6,967
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> (1) 市史編纂委員会 3月11日 文化センター第2会議室 出席委員7名 発刊計画の策定等協議 (2) 市史編集委員会 3月22日 文化センター第1会議室 出席委員5名 民俗生活編の検討 (3) 市史「民俗・生活編」の原稿執筆 (4) 市史編纂叢書82集「慈恩寺と御料八鍬村との係争関係資料」発刊 11月30日刊行 250部 (5) 市史資料所在目録の発刊 3月28日刊行 100部 (6) 郷土資料展の開催 「寒河江市出身の児童文学者 佐藤美喜子展」 5月29日～6月10日 会場:図書館ギャラリー (7) 「慈恩寺修験図録」の発刊 3月29日刊行 300部 (8) 歴史文化活動推進員による市内の念仏講・契約講等の調査
--

5. 事業の評価

<p>市史編纂事業計画に基づいた市史の発刊を順調に進め、寒河江市の詳細な歴史を市民に提供することができ、市民の歴史学習に大きく寄与することになった。</p> <p>また、市史を裏付ける資料や文化財の調査をすすめ、寒河江市特有の歴史文化を解明した。なかでも、市内の念仏講・契約講などの調査成果を郷土資料展でいち早く市民に公開し、歴史文化学習に資した。これらの資料調査の活動によって、滅失・毀損しかかっている市内の歴史・文化資料が明らかとなり、貴重な古文書などが所有者から市に寄贈され、保存と活用が図られることとなった。</p> <p>また、市史編纂活動の成果として、図録や叢書の発刊を行い、市民の歴史文化への関心を深め、市の歴史を後世に伝えていくことにつながった。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	古文書や歴史資料等の廃棄、消失が進んでいることから、現在の市史専門員体制を維持し、地域の歴史資料を調査研究して後世に残し、それらの研究成果を市民に公表していかなければならない。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護庶務事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 (教育振興計画)	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保存及び活用のため、調査研究等を行い、市民の文化的向上に資する。
事業内容	(1) 文化財保護委員会の開催（文化財保護委員 9名） (2) 文化財調査・天然記念物管理 (3) 文化財に対する啓発 (4) 国特別天然記念物カモシカの救出及び死体処理 (5) 県指定天然記念物種蔘ザクラ擬木化修理工事

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,825	補正額等		合計	1,825	決算額	1,115
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 文化財保護委員会の開催(6月25日、中公第2研修室、委員8名)</p> <p>(2) 市指定文化財の上申(天海僧正筆「直末寺許可状」ほか9件)</p> <p>(3) 文化財調査(市指定候補銅製経筒ほか)</p> <p>(4) 市内の念仏講・契約講調査の実施(歴史文化活動推進員の基礎調査に基づく詳細調査)</p> <p>(5) ふるさと歴史探訪『大江氏関係城館跡をめぐる』(11月4日、参加者25名)</p> <p>(6) 白岩城歴史学習会・白岩城シンポジウムの実施(10月13日、参加者40名) ・ 白岩城現地視察 10月14日 参加者30名</p> <p>(7) 山形県指定天然記念物種蔘ザクラ擬木化修理工事(10月10日～2月7日)</p>
--

5. 事業の評価

<p>文化財保護委員会では、市指定文化財10件の指定審議を行い、市の文化財の価値認定と保存が図られた。さらに、指定文化財につながる資料や歴史資料の調査を積極的に実施し、寒河江の歴史的・文化的価値の発掘と保存に寄与した。</p> <p>市民を対象とした歴史探訪事業は市民の人気を博し、歴史学習と文化財保護に対する市民の要請に適切に対応することとなった。</p> <p>白岩城についてシンポジウムと現地学習会を実施したが、地元白岩地区民を中心に多くの参加者があり、関心の高さが窺えるなど効果が得られた。</p> <p>指定文化財保護事業として、県指定天然記念物種蔘ザクラの擬木化保存修理を進め、文化財の保存活用に資することとなった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	指定文化財の周知活用をおこない、市民の文化財に対する関心を高めるための取り組みを充実させていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 (教育振興計画)	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。
事業内容	文化財保護法に基づき市内遺跡の試掘調査及び記録調査を行い、報告書を作成するとともに、「埋蔵文化財フェア」を開催する。慈恩寺国史跡指定を推進するため文化庁調査官を招いて慈恩寺調査検討委員会を開催する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,200	補正額等		合計	2,200	決算額	2,180
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>主たる2調査を実施したほか、埋蔵文化財に対する市民の理解を深めるため、文化センターを会場に「埋蔵文化財フェア」を開催した。</p> <p>(1) 米沢遺跡発掘調査(工業団地開発関係) 9月3日～9月7日 (2) 慈恩寺新山堂礎石調査(国史跡指定関係) 10月24日～11月7日 (3) 埋蔵文化財フェア「山形県内の古代瓦」8月4日～10日 文化センター中公ホール 期間中見学者256名 (4) 講演会 8月4日 伊藤邦弘山形考古学会理事 文化センター第1研修室 参加者40名</p> <p>文化庁調査官を招聘し慈恩寺調査検討委員会を開催した。6月19日、その他委員会2月まで6回、委員5名</p>
--

5. 事業の評価

<p>国庫補助を効率的に活用することで、市内開発と埋蔵文化財保護との調整に資することができた。当該年度においては、緊急開発にかかる米沢遺跡や国史跡指定の候補となる慈恩寺新山堂の調査を実施し、埋蔵文化財の保存と解明に適切に対処した。</p> <p>また、埋蔵文化財フェアでは、平野山古窯跡発見の古代瓦を中心とする考古資料を展示し、市民の歴史学習に資した。多くの市民が見学に訪れ、十分に事業の効果が得られた。</p> <p>慈恩寺国史跡指定に関して、国庫補助事業である本事業を通して文化庁調査官を招聘して調査検討委員会を開催、指定に向けた指針を得、総合報告書作成にむけて目次案を作成することができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	埋蔵文化財に対する市民の関心も高く、調査・保存とともに、その遺跡の価値等について、市民に広く周知していく必要がある。また、慈恩寺国史跡指定を積極的に推進していく必要がある。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	県指定有形文化財である旧西村山郡役所・郡会議事堂の保存を図るとともに、郷土館として市民の郷土学習活用を図る。
事業内容	(1) 郷土館の維持管理 (2) 郡制時代をテーマに資料館として一般開放 (3) 郷土館特別展「寒河江市の念仏講」の開催

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,631	補正額等		合計	6,631	決算額	6,558
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 県指定有形文化財である建物の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理業務委託(10件) 1,471,055円 旧郡会議事堂外壁塗装替、郡役所バルコニー補修工事 4,667,197円 <p>(2) 郷土館一般公開</p> <p>4月9日～11月13日の土・日・祝日 (4月20日～5月27日桜・つつじ開花期開館) 入館者数:1,853人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校郷土学習対応 6月27日高松小、7月6日醍醐小、10月10日寒河江小、10月31日寒河江中部小、10月10日柴橋小、10月25日三泉小、10月23・24日南部小、11月28日西根小 <p>(3) 特別展「寒河江市の念仏講」の開催</p> <p>9月21日～10月14日 郷土館2階大広間 入館者:371人</p> <p>(4) 記念講演</p> <p>9月21日 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:71名</p>
--

5. 事業の評価

<p>電気保安点検など防犯防災に努めたことにより、県指定有形文化財である建物の維持を図ることができた。また、建物を郷土館として活用、郡政期の生活と文化をテーマに一般公開、県内外からの来館者のほかに、小学校の授業の一環として実施されている郷土学習に大きく資することができた。さらに、市史編纂専門員の歴史文化調査活動に依拠してテーマを決めた「寒河江市の念仏講」特別展には多くの来館者を集め、市民の郷土・歴史学習、慈恩寺国史跡指定推進に寄与した。市民の生涯学習機関としての機能を十分に果たしている。つつじ祭りや桜の開花期に開館日を拡充したことにより、多くの入館者があり、学習施設としてだけでなく、市民の憩いの施設としても活用が図られた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	郷土館の建物の維持管理に努め、長岡山の再整備に合わせて、一般公開、企画展や特別展の開催について力を入れていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	歴史文化ふるさと回帰事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 〔教育振興計〕	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	市民の地域の歴史等に係る活動や事業に対し支援を行う。
事業内容	地域の歴史、伝統、文化、生活等に係る活動や事業に対して補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,000	補正額等		合計	1,000	決算額	802
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市民団体による次の4つの事業に対して、指導・アドバイスを行うとともに補助金を交付した。</p> <p>(1)宝分館のあゆみ、宝文化祭30周年記念誌作成事業 (補助金額 112,000円)</p> <p>(2)田沢川のほたるを守る会活動20周年記念石碑設置事業 (補助金額 130,000円)</p> <p>(3)「おくまんさまをたずねて」事業 (補助金額 140,000円)</p> <p>(4)慈恩寺舞楽(太平楽の鎧)衣装保存整備事業 (補助金額 420,000円)</p>

5. 事業の評価

<p>市民の地域に対する愛着を育み、他に誇れる地域づくりに資することを目的に4件の応募があり、それぞれの事業が完遂し、地域の期待に応えることができた。住民の地域に対する愛着が深まり、自信と誇りが芽生えるなど期待した成果が得られた。</p> <p>なかでも、慈恩寺舞楽太平楽は踊り手が平成23年から若手に交代したばかりであり、本事業による舞楽鎧の整備は国指定重要無形文化財慈恩寺舞楽の伝承者育成に大きく寄与することとなった。</p> <p>「おくまんさまをたずねて」事業によってなされた史跡案内パンフレットなどの成果が地域を越えて大いに評価されるなど、十分な効果が得られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域いきいき元気づくり事業との調整が求められている。住民の地域に対する愛着が広がり、自信と誇りが芽生え、新たな地域づくりにつながっていくこの制度を残してしていきたい。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	慈恩寺国史跡指定を目指し、慈恩寺文化の価値の裏付けとなる調査に取り組み、さらに県内外に慈恩寺文化の発信に努めていくことを目的とする。 ※ 県は、世界遺産登録推進事業を断念したことに伴って「山形の宝育成事業」を創設した。平成22年度から市はこの事業費補助を受けて慈恩寺を調査し、国史跡の指定を目指し、価値をさらに高めていくものである。
事業内容	(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 (4) 慈恩寺城館群の調査 (2) 慈恩寺地形図の作成 (5) 慈恩寺シンポジウムの開催 (3) 慈恩寺文化財調査 (6) 慈恩寺行事の研究

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	12,600	補正額等		合計	12,600	決算額	12,600
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 期日:3月15日 会場:慈恩寺活性化センター 委員:34名 内容:事業内容の説明と先進地事例発表「大江町国指定史跡左沢楯山城について」講師:大江町教育委員会菊地泰子氏 先進地視察 3月25日 委員11名 視察地:福島県磐梯町国史跡指定慧日寺跡
(2) 慈恩寺シンポジウムの開催 期日:11月17日 会場:文化センター・中公ホール 参加者:120名 内容:「歴史と文化財を知り守り活かす」をテーマに、「史跡を活かした街づくり」講師:足利市立美術館長大澤伸啓氏 「12世紀慈恩寺の一側面」講師:東北大学文学部准教授堀裕氏
(3) 慈恩寺行事研究会「古代中世寺院の行事研究」の開催 実施日:2月17日 会場:文化センター・中公ホール 講師:元興寺文化財研究所研究部長狭川真一氏 参加者:70名
(4) 慈恩寺学習会 「慈恩寺国指定に向けて～文化財を「知る」「守る」「活かす」ために～」 実施日:6月13日 会場:慈恩寺活性化センター 講師:荒木利見氏 参加者:60名
(5) 慈恩寺墓石・建造物・堂跡・本堂墨書・樹木等調査 期日:4月1日～3月31日 内容:関係遺構、遺物、生態等の調査
(6) 慈恩寺修験行場の調査 期日:5月7日 内容:慈恩寺修験行場補足調査
(7) 慈恩寺城館群の調査 調査者:山形県中世城郭研究会(代表伊藤清郎山形大学教授) 内容:日和田楯、田沢要害
(8) 慈恩寺関係絵図類の復刻 期日:2月26日 200部
(9) 慈恩寺宝蔵院仏画調査 実施者:東北芸術工科大学
(10) 慈恩寺史跡指定範囲案内の地形図作成委託(1/500)
(11) 事業広報紙「慈恩寺Times」の発刊
(12) 「悠久の里 慈恩寺」幟旗の製作と醍醐地区・関係機関への設置

5. 事業の評価

<p>慈恩寺の国史跡指定は本市のみならず県の期待でもあり、これに向けて適切に事業が実施されている。地元の支援組織である慈恩寺国史跡指定推進委員会を開催したことにより、地元の盛り上がりもあり、慈恩寺学習会や慈恩寺一山の建造物調査・修験行場調査・地形図作成などもスムーズに実施することができた。</p> <p>特に、慈恩寺シンポジウムや学習会には多数の地元住民が参加し、地元の慈恩寺国史跡指定に向けた熱意を醸成することになり、慈恩寺文化財の調査が進み、国史跡指定に向けた展望が開ける効果を得た。その他、慈恩寺を取り巻く中世城館址調査や仏画調査などで学術的に精緻な報告があり、好成果を得ることができた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	速やかに慈恩寺が国史跡の指定を受けるため、調査検討委員会協議内容に基づき総合報告書を編集・刊行し、地権者同意書の取得、具申書の作成など力を入れて事業遂行していく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 教育行政に対する関心、意識の高揚		1 教育総務費
			2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,551	補正額等		合計	4,551	決算額	4,395
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。 ・規則及び規程の制定又は改正 11件</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 1件 ・死亡叙位 2件</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成23年度分)の点検・評価について、その評価方法の一部見直しを行いながら実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 平成23年度末で市内の小中学校を最終勤務地として退職した教職員8名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p> <p>(6) 田代小学校の閉校記念事業を実施した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 教育委員会規則の改正等、教育功労・叙位叙勲の処理、各種調査事務その他課内の庶務に関する事務については総じて適切に処理している。</p> <p>(2) 教育事務の点検・評価について、評価対象事業の選定基準を明確化し、対象事業の1次選定を担当課に委任したことにより、事務の改善につながった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後とも事務の適切な処理に努めるとともに、教育事務の点検・評価については、さらにその方法に創意工夫を重ねながら施策への反映を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 教育振興計 画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	(1) 小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	122,943	補正額等	182,365	合計	305,308 内166,002千円は25年度への繰越(※)	決算額	132,969
(備考) (※) 166,002千円は、国の学校施設環境改善交付金事業により、小学校空調設備整備工事請負費等として補正したが、年度内に執行することができないことから平成25年度にその全額を繰り越して執行することとしたものである。							

4. 事業の実施状況

<p>(1) 校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>① 施設・設備の保守等のための業務委託 ・警備保障業務委託 ほか 48件</p> <p>② 施設・設備の修繕 ・高松小学校体育館高窓ガラス修理 ほか159件</p> <p>③ 施設の整備 ・寒河江小学校給食給湯ボイラー交換改修工事 ほか 55件</p> <p>④ 施設の運営 ・各学校に施設の運営経費に係る予算を配当し、予算の効率的な執行を行うとともに教育環境の整備に万全を期した。</p> <p>⑤ 管理用備品の整備 ・児童用机・椅子等を整備した。</p>
--

5. 事業の評価

(1) 児童用机A版化更新(4, 5年生)を実施し、学習環境の改善に資した。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設・設備は老朽化してきており、修繕等の必要な箇所が多くなってきているが、その緊急性や必要性を考慮しながら、計画的に整備・改修を推進していく。また、近年の暑さ対策として、職員室、校長室、パソコン室及び図書室等特別教室並びに給食室に空調設備を設置する。さらに非常時における電力供給機能を維持するため、太陽光発電施設や蓄電機等を設置する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 〔教育振興計 画〕	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	(1) 中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理 (2) 中学校の下水道排水設備の整備

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	47,456	補正額等	124,248 は23年度からの繰越	内 25,083千円	合計	171,704 は25年度への繰越(※)	内 95,050千円	決算額	70,884
(備考) (※) 95,050千円は、国の学校施設環境改善交付金事業により、中学校空調設備工事請負費等として補正したが、年度内に執行することができないことから平成25年度にその全額を繰り越して執行することとしたものである。									

4. 事業の実施状況

(1) 校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。 ① 施設・設備の保守等のための業務委託 ・警備保障業務委託 ほか 23件 ② 施設・設備の修繕 ・陵東中学校高圧受電柱接地抵抗修理 ほか 61件 ③ 施設の整備 ・陵西中学校男子便所洋式改修工事 ほか 21件 ④ 施設の運営 ・各学校に施設の運営経費に係る予算を配当し、予算の効率的な執行を行うとともに教育環境の整備に万全を期した。 ⑤ 管理用備品の整備 ・生徒用椅子等を整備した。
--

5. 事業の評価

(1) 陵南中学校からの汚水を公共下水道に流入させるため、下水道設備改修工事を実施した。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	施設・設備は老朽化してきており、修繕等の必要な箇所が多くなってきているが、その緊急性や必要性を考慮しながら、計画的に整備・改修を推進していく。また、近年の暑さ対策として、職員室、校長室、パソコン室及び図書室等特別教室に空調設備を設置する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	2 小学校費
		目	2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常及び定期検査等を行う。 また、学校災害賠償補償保険、災害共済給付制度に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	19,034	補正額等		合計	19,034	決算額	18,556
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 児童検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,425名
② 耳鼻科検診	1,648名
③ 心電図検査	366名
④ ぎょう虫卵検査	1,161名
⑤ 尿検査	2,425名
⑥ 貧血検査	417名
⑦ 結核精密検査	4名
(2) 教職員検診	
① 一般検診 175名(93.1%) (40歳以上特定健診 158名)	③ 胃がん(40歳以上) 132名(83.5%)
② 大腸がん(40歳以上希望) 121名(76.6%)	
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水(放射性物質検査は抽出実施)、照度、空気)	
(4) 災害共済給付 165件 676,034円	

5. 事業の評価

<p>児童及び教職員の適切な健康管理のため、学校保健安全法等に定める各種検診等を、各学校医への嘱託と検査機関への業務委託により実施した。要観察者、未受診者及び2次検査等を含めた受診体制の整備を図っており、疾病等の早期発見・早期治療に結びついている。</p> <p>また、適正な学習環境維持のため、法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。</p> <p>さらに、学校管理下の事故等に対応した災害共済給付金の対象件数が相当数に上るが、重篤な事故等には至っていない。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各学校で定めている「学校安全計画」を適切に見直し、学校管理下での事故等の削減などをはじめとする、安全に関する指導の徹底を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計 画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
			3 中学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康管理増進のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常及び定期検査等を行う。 また、学校災害賠償補償保険、災害共済給付制度に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,288	補正額等		合計	8,288	決算額	8,149
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 生徒検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,260名
② 耳鼻科検診	672名
③ 心電図検査	431名
④ 尿検査	1,260名
⑤ 貧血検査	1,071名
⑥ 結核精密検査	2名
(2) 教職員検診	
① 一般検診 89名 (98.9%) (40歳以上特定健診 75名)	③ 胃がん(教職員40歳以上) 54名 (72.0%)
② 大腸がん(40歳以上希望) 57名 (76.0%)	
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、空気)	
(4) 災害共済給付 318件 2,481,288円	

5. 事業の評価

<p>生徒及び教職員の適切な健康管理のため、学校保健安全法等に定める各種検診等を、各学校医への嘱託と検査機関への業務委託により実施した。要観察者、未受診者及び2次検査等を含めた受診体制の整備を図っており、疾病等の早期発見・早期治療に結びつけている。</p> <p>また、適正な学習環境維持のため、法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。</p> <p>さらに、学校管理下の事故等に対応した災害共済給付金の対象件数が相当数に上るが、重篤な事故等には至っていない。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各学校で定めている「学校安全計画」を適切に見直し、学校管理下での事故等の削減などをはじめとする、安全に関する指導の徹底を図っていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	2 小学校費
		目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材、教具備品及び図書等の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	14,910	補正額等		合計	14,910	決算額	14,221
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
(1) 教材教具、図書等一般事業	13,164 千円
(2) 理科教育振興設備整備事業	1,057 千円

5. 事業の評価

<p>学習指導要領等に基づき、教材教具、理科教育のための設備及び図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に図った。楽器等の高額備品については、計画的に一括購入等を行い効果的な教材・教具等の整備を図っている。</p> <p>特に、理科教育振興法に定められた理科教育のための設備の整備については、各校の整備率を基にした年次計画による整備を進めた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>児童が効果的に学習できるよう、継続して学習環境の整備充実に図っていく必要がある。特に、理科教育設備、図書購入についてはさらに充実を図る必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材、教具備品及び図書等の整備を行ない、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	13,428	補正額等		合計	13,428	決算額	13,113
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実を努めた。</p> <p>(1) 教材教具、図書等一般事業 12,591 千円</p> <p>(2) 理科教育振興設備整備事業 522 千円</p>

5. 事業の評価

<p>学習指導要領等に基づき、教材教具、理科教育のための設備及び図書等の整備を行い、学習環境の整備充実を図った。楽器等の高額備品については、計画的かつ一括購入等を行い、各校への予算配当との調整を含め、効果的な教材・教具等の整備を図っている。特に、理科教育振興法に定められた理科教育のための設備の整備については、各校の整備率を基にした年次計画による整備を進めた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学習指導要領に基づいた学習指導が適切に行われ、生徒が効果的に学習できるよう、継続して学習環境の整備充実を図っていく必要がある。特に理科教育設備、図書購入についてはさらに充実を図る必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	2 小学校費
		目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	小学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器・設備の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	15,860	補正額等		合計	15,860	決算額	15,402
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>全小学校のパソコン機器等のリース契約を継続し、周辺機器を含めた修繕等へも対応した。</p> <p>○ 児童用パソコンの配置台数</p> <p>・寒河江小35台 ・寒河江中部小35台 ・南部小35台 ・西根小32台 ・柴橋小32台 ・高松小35台 ・醍醐小20台 ・白岩小27台 ・幸生小9台 ・田代小6台 ・三泉小25台 合計291台</p>

5. 事業の評価

<p>全小学校のパソコン機器等のリース契約を継続し、周辺機器を含めた修繕等へも対応しており、計画的な情報環境整備を図るとともに、ICT活用支援事業を実施し、情報機器の有効かつ安全な活用のための情報教育を進めている。</p> <p>また、各教科における活用では、インターネットを利用した調べ学習や学習のまとめが行われるなど、有効に活用されている。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>定期的な機種更新や平成25年度からは電子黒板の導入によるICT環境整備を行い、情報教育の推進を図っていく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	中学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器・設備の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,167	補正額等		合計	8,167	決算額	7,825
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>各中学校のパソコン機器等のリース契約を継続し、周辺機器を含めた修繕等へも対応した。</p> <p>○ 生徒用パソコンの配置台数 ・陵東中42台 ・陵南中42台 ・陵西中35台 合計119台</p>

5. 事業の評価

<p>全中学校のパソコン機器等のリース契約を継続し、周辺機器を含めた修繕等へも対応しており、計画的な情報環境整備を図るとともに、小学校からの情報教育をさらに深めるため、周辺機器の充実を図りながら、ICT活用支援事業とともに、インターネットを活用した調べ学習やデータの分析やまとめなどの学習を行い、情報機器の有効かつ安全な活用のための情報教育の充実を図った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>定期的な機種更新や平成25年度からは電子黒板の導入によるICT環境整備を行い、情報教育の推進を図っていく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	V 開かれた学校づくり	予算科目	10 教育費
	2 教育環境の充実・整備		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	陵西中学校に在籍する幸生、田代地区の生徒の通学を支援し、就学機会の確保に資する。
事業内容	スクールバスの運行業務を市内タクシー会社に委託し、幸生、田代地区の生徒の送迎を行う。 また、しらいわ保育所に通園する幸生、田代地区の幼児の送迎を行うとともに、小中学校の校外活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,933	補正額等	881	合計	6,814	決算額	5,897
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 利用者	: 陵西中学校 8名(幸生地区 5名、田代地区 3名) しらいわ保育所 10名(幸生地区 7名、田代地区 3名)
(2) 運行状況	: 陵西中学校及びしらいわ保育所への送迎(延べ 495日) 自然の家等での体験学習や公共施設等の見学学習などの校外活動等の利用(延べ 107日) 陵西中部活動等での利用(延べ23日)
(3) 運行車両	: 1号車、2号車とも平成23年度に更新

5. 事業の評価

<p>中学校及び保育所の通常の送迎のほか、小中学校の校外活動など多様なニーズにも利用調整の可能な限り対応するとともに、平成21年度からは宮内・上野地区との協定に基づき当該地区の生徒の冬期間の送迎にも活用するなど、効果的な運用を図った。</p> <p>平成25年度以降において、田代地区の児童生徒を白岩小学校および陵西中学校まで安全で確実に送迎し、円滑な運行ができるよう、運行経路や乗降時間等について、随時の打合せや試運転を行って調整が図られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	幸生、田代地区の児童生徒及び、しらいわ保育所園児の送迎を優先としながら、各学校の校外学習活動等にも可能な限り活用していく。

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	「さがえっこ育みアクションプラン」の 策定・推進
市重点プロジェクト	(1) 「さがえっこ」すくすくプロジェクト

事業推進 関係課	学校教育課
	生涯学習課
	子育て推進課

事業の目的	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、生活リズムの確立や道徳心の向上、学力の向上、読書活動・食育の充実など、子どもたちの生きる力を育むための取組「さがえっこ育みアクションプラン」を、市民全体で推進する。
関係事業とその概要	<ul style="list-style-type: none"> ○さがえっこ育みアクションプラン推進事業(推進本部の設置、学校支援地域本部事業の実施) ※ P36参照 ○いのちと心を育む学校づくり支援事業(各学校における具体的取組の展開) ※ P37参照 ○読書の盛んな学校づくり事業(各学校の読書活動推進のための読書活動推進員の配置) ※ P27参照 ○社会教育活動事業(小学校を会場とした「子育て講座」の実施) ※ P22参照 ○学級講座開設事業(幼稚園・保育所等を会場とした「家庭教育講座」の実施) ※ P14参照 ○読書普及事業(「ブックスタート事業」の実施) ※ P30参照
事業の実施状況	<p>【推進本部の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回の会議を開催し、推進方策を検討 ・取組の指針となる「さがえっこの育み10か条」の啓発のために、リーフレット8,000部を作成し、全保護者等に配布 <p>【学校における取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちと心を育む学校づくり…各小中学校で、家庭・地域と連携した特色ある取組を実施 ・読書の盛んな学校づくり…読書活動推進員5名を配置し、各学校で計画的に活用 <p>【地域の教育力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部…小学校全11校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開 学校支援ボランティアの総数 1623人(22年度: 1,222人、23年度: 1,310人) <p>【家庭の教育力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがた子育て講座…小学校全11校で実施 参加者: 625人 ・幼児共育ふれあい広場…保育所全7所で実施 参加者: 303人 ・家庭教育講座…幼稚園などで実施 参加者: 1,058人 ・ブックスタート事業…3か月健診時に、本とのかかわりについて、母親を対象に実施 参加者: 337人

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
今後の対応等	推進本部による事業の啓発(リーフレットの作成や、各種広報活動、さがえっこ育みフォーラムの開催)		
	「いのちと心を育む学校づくり」の実施(各学校における取組の重点化と、家庭・地域との連携の推進)		
	読書活動推進員の配置(5名)による学校読書の推進		
	「学校支援地域本部」の中学校への設	地域コーディネーターの配置の拡大	
	「子育て講座」・「家庭教育講座」の実施		
	「ブックスタート事業」の実施		
	<p>実施2年目として、昨年度定めた「さがえっこの育み10か条」をリーフレットの配布等により周知・啓発を図るとともに、今年度は各小中学校や幼稚園・保育所で取組の重点を定め、家庭や地域を巻き込みながらの活動を図った。それぞれに、昨年度より活動の広がりが見られた。</p> <p>市振興計画における市民100人委員会の評価は、5段階で、「現状の満足度=3.53(昨年度:3.41)」、「今後の重要度=4.00(昨年度:3.83)」という結果となった。ともに数値が向上し、特に今後の重要度が41になったことは、市民の認知度が高まったといえることができる。</p> <p>すべての市民に「学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む」ことの重要性を認識していただくことが本事業の目的であり、今後、「さがえっこ育みフォーラム」の開催等、効果的な周知・啓発を行っていくとともに、本部での重点を決めた取組の実施により、より多くの市民から重要度の高い事業としての認識が得られるよう、推進していく必要がある。</p>		

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	事業推進 関係課	生涯学習課
			情報観光課
			建設管理課
			政策推進課
市重点プロジェクト	(3) 慈恩寺「悠久の魅力」向上プロジェクト		

事業の目的	慈恩寺の国史跡指定に向けて取り組み、慈恩寺の価値について情報を発信するなど、貴重な慈恩寺の文化財を総括的に保存し活用を図る。
関係事業とその概要	<p>○観光案内機能を併せた休憩施設の整備など慈恩寺の魅力を増大できる受け入れ体制の充実(情報観光課)</p> <p>○市民とともに慈恩寺地区の景観計画を策定し、歴史的、文化的景観の保全・形成に取り組む(建設管理課)</p> <p>○慈恩寺に関連する既存組織を活用し市民を加えた「慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画検討委員会」を立ち上げ、慈恩寺地域の文化、観光、産業振興に向けた計画策定に取り組む。(政策推進課)</p>
事業の実施状況	<p>【慈恩寺国史跡指定総合調査事業】</p> <p>(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 期日: 25年3月15日 会場: 慈恩寺活性化センター 委員: 34名 内容: 事業内容の説明と先進地事例発表「大江町国指定史跡左沢楯山城について」 講師: 大江町教育委員会菊地泰子氏</p> <p>(2) 慈恩寺学習会「慈恩寺国指定に向けて～文化財を「知る」「守る」「活かす」ために～」の開催 実施日: 6月13日 会場: 慈恩寺活性化センター 講師: 荒木利見教育長 参加者60名</p> <p>(3) 慈恩寺修験行場調査 期日: 5月7日 内容: 慈恩寺修験行場の確認、関係遺物・遺構の調査</p> <p>(4) 慈恩寺墓石・建造物・堂社跡、本堂墨書跡・樹木等の調査 期日: 4月1日～3月31日 内容: 関係遺構、遺物、生態等の調査</p> <p>(5) 慈恩寺城館群の調査 調査者: 山形県中世城郭研究会(代表伊藤清郎山形大学教授) 内容: 日和田楯、田沢要害</p> <p>(6) 慈恩寺関係絵図類の復刻 期日: 2月26日 200部</p> <p>(7) 慈恩寺宝蔵院仏画調査 実施者: 東北芸術工科大学</p> <p>(8) 慈恩寺史跡指定範囲案内の地形図作成委託(1/500)</p> <p>【慈恩寺文化の広報・発信事業】</p> <p>(1) 慈恩寺シンポジウム 開催日: 24年11月17日 会場: 中公ホール 参加者: 120名 基調講演: 足利市立美術館長大澤伸啓氏、東北大学文学部准教授堀裕氏</p> <p>(2) 慈恩寺行事研究会の実施 実施日: 2月17日 会場: 中公ホール 参加者: 70名</p> <p>(3) 「山形の宝」地域のシンボル育成事業報告書「歴史と文化財を知り守り活かす」の刊行 3月29日発行 300部 市内外関係機関等に配布し、慈恩寺文化の広報に資した。</p> <p>(4) 慈恩寺国史跡指定推進広報紙「慈恩寺Times」の発刊(隔月)醍醐地区全戸配布、他は町会回覧</p> <p>(5) 「悠久の里 慈恩寺」幟旗の製作と醍醐地区・関係機関への設置</p>

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
今後の対応等	慈恩寺文化財調査、総合報告書作成、具申書提出		国史跡保存管理計画策定	
	慈恩寺シンポジウムの開催、慈恩寺学習会の開催			
	慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画策定		計画に基づいた事業実施	
	<p>慈恩寺調査検討委員会協議による総合報告書の作成及び史跡範囲案を確定し、範囲内の地権者同意書の取得、地形図等必須添付書類の調整など、具申書作成に向け着実に事業を進める必要がある。</p> <p>市振興計画における100人委員会の評価は、5段階で満足度が3.45、今後の重要度が4.00で前年度に比べ満足度が0.11、重要度が0.09増加した。市民の関心度が高まっており、それに応えることが肝要である。</p>			

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	「屋内多目的運動場」の整備	事業推進 関係課	生涯学習課
			商工振興課、情報観光課
			政策推進課
			農林課
市重点プロジェクト	(7) 「さがえはつらつ」プロジェクト		

事業の目的	冬季においても屋外型スポーツが楽しめる施設整備を進め、市民が年間を通じてスポーツに親しめるまちづくりに取り組むとともに、イベント等での利活用も視野に、市内外から人が集う交流拠点施設としてにぎわい創出を図る。また、災害時の支援物資保管施設としての機能を整備し、物流の拠点施設として位置づける。
関係事業とその概要	
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①市内5会場において懇談会を実施し、事業説明及び要望・意見を聴取 ②スポーツ推進審議会で建設や基本設計について意見を聴取 ③庁内の基本設計審査会を経て、実施設計管理業務委託契約 ④議会の議決を経て、用地の取得及び工事請負契約を実施

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
今後の対応等	<ul style="list-style-type: none"> ①工期内完成に向け、工事関係者と連携しながら建設工事を進める。 ②完成後の管理運営体制について検討・準備を進め、供用開始に合わせ新体制を導入する。 ③施設の愛称を募集し、親しみやすいイメージの発信に努める。 ④利用希望団体等と検討・調整を図り、施設の利活用に努める。 ⑤オープン記念事業を実施する。 	公民館活動や地区体育協会などとの連携を図り、屋内多目的運動場を活用した楽しみながら健康づくりのできる環境整備を進める。 指定管理者制度を導入し、多彩な事業を実践する。	→

平成 25 年 9 月

寒河江市教育委員会

	学 校 教 育 課	生 涯 学 習 課
所 在	〒991-8601 山形県寒河江市中央一丁目 9 番 45 号	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西 333
T E L	0237-86-2111 (代表)	0237-86-5111
F A X	0237-86-8691	0237-86-2201
Email	sbea10@educet.plala.or.jp	shogaku@city.sagae.yamagata.jp
